

令和4年の交通事故統計

とよたの 交通事故

とまってくれて ありがとう



横断歩道は歩行者優先です

※必要な許可を得て撮影しています

歩行者側から、止まって
くれたドライバーに感謝
の気持ちを伝えよう！



歩行者と**ド**ライバーが
アイコンタクト！
安全に横断歩道を渡ろう！



ドライバーのみなさん
横断歩道で歩行者を見たら
必ず止まりましょう



豊田市公式YouTubeに
動画を掲載中
ぜひ見てね！

とまってくれてありがとう運動の啓発動画と
ポスターをラリーとコラボして作成（稲武）



「とまってくれてありがとう運動」（ラリー編）

2023年交通安全市民運動期間

- ☆ 春の交通安全市民運動
5月11日（木）～ 5月20日（土）
- ☆ 夏の交通安全市民運動
7月11日（火）～ 7月20日（木）
- ☆ 秋の交通安全市民運動
9月21日（木）～ 9月30日（土）
- ☆ 年末の交通安全市民運動
12月 1日（金）～ 12月10日（日）
- ☆ 交通事故死ゼロの日
毎月10日、20日、30日

凡 例（用語説明）

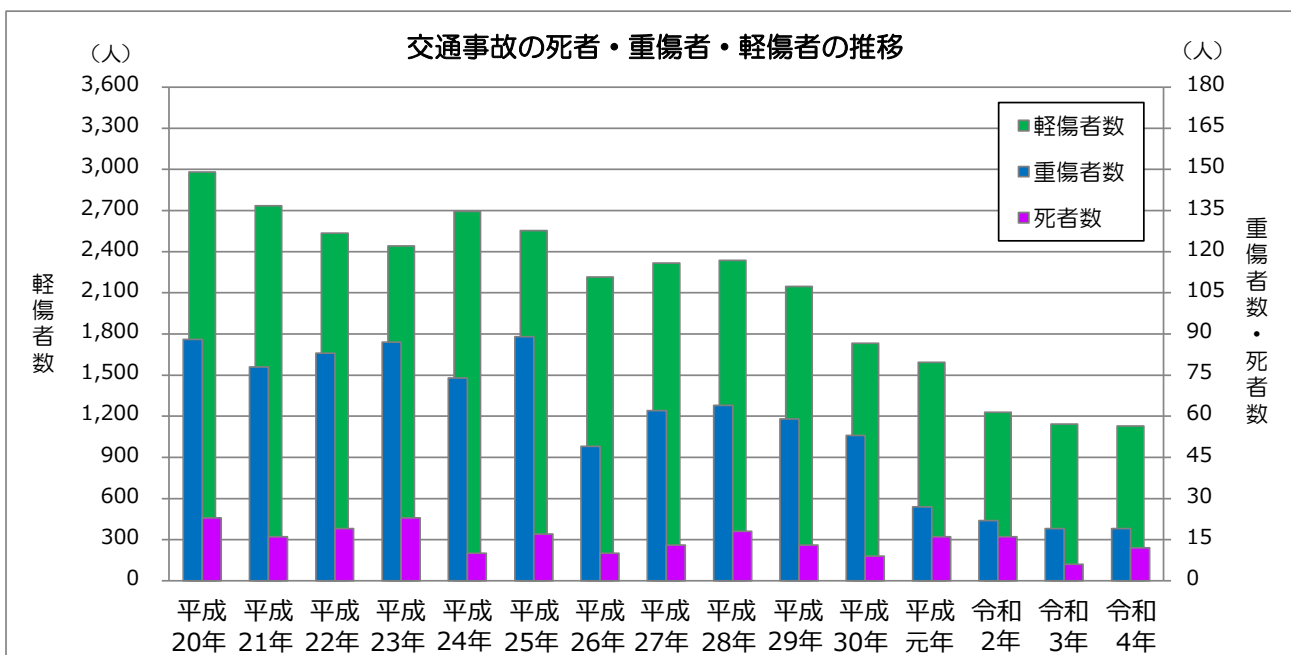
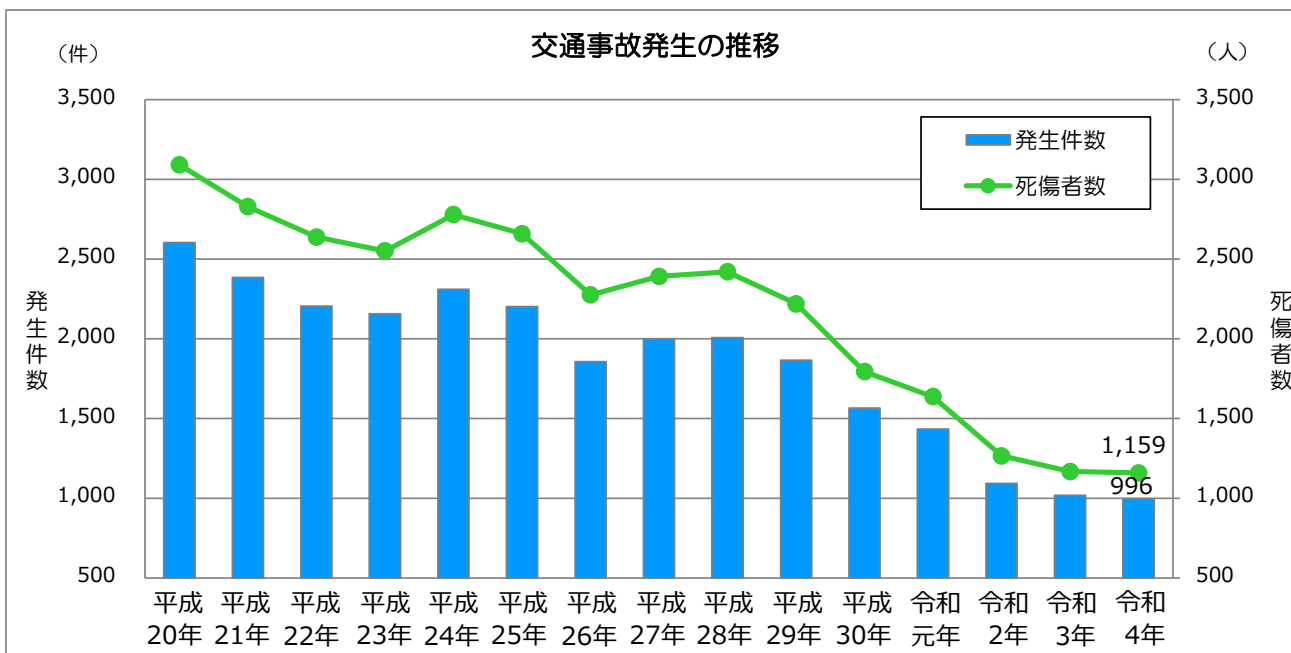
- 事故・・・交通事故により死傷があった人身事故をいう。
- 死亡・・・交通事故の発生から24時間以内に死亡したものをいう。
- 重傷・・・交通事故によって負傷し、30日以上の治療を要するものをいう。
- 軽傷・・・交通事故によって負傷し、30日未満の治療を要するものをいう。
- 第一当事者・・・交通事故の当事者間で過失がより重い者をいい、過失が同程度の場合は、被害がより小さい者をいう。
- 第二当事者・・・交通事故の当事者間で過失がより軽い者をいい、過失が同程度の場合は、被害がより大きい者をいう。
- 同乗者・・・車両等及び列車に同乗し、死傷した者をいう。
- 大交差点・・・交差する道路幅員がそれぞれ13メートル以上ある交差点をいう。
- 中交差点・・・交差道路の狭い方の道路幅員が5.5メートル以上13メートル未満である交差点をいう。
- 小交差点・・・交差道路の狭い方の道路幅員が5.5メートル未満である交差点をいう。
- 交差点付近・・・交差点の側端から30メートル以内の部分をいう。
- 子ども・・・年齢が15歳以下の者をいう。
- 若者・・・年齢が16歳以上24歳以下の者をいう。
- 一般・・・年齢が25歳以上64歳以下の者をいう。
- 高齢者・・・年齢が65歳以上の者をいう。
- 朝・・・午前6時台から午前8時台までの時間をいう。
- 昼前・・・午前9時台から午前11時台までの時間をいう。
- 昼過ぎ・・・午後0時台から午後3時台までの時間をいう。
- 夕方・・・午後4時台から午後5時台までの時間をいう。
- 前夜・・・午後6時台から午後9時台までの時間をいう。
- 中夜・・・午後10時台から午後11時台までの時間をいう。
- 深夜・・・午前0時台から午前3時台までの時間をいう。
- 早朝・・・午前4時台から午前5時台までの時間をいう。

目 次

1 豊田市の交通事故発生推移	1
2 豊田市の交通事故発生概要	
(1)令和4年の交通事故発生状況	2
(2)月別発生状況	3
(3)当事者別発生状況	4
(4)時間帯別発生状況	5
(5)年齢別発生状況	6
(6)車道幅員別発生状況	7
(7)道路形状別発生状況	8
(8)事故類型別発生状況	9
(9)交通事故多発信号交差点（平成29年～令和3年：件数）	11
(10)交通事故多発信号交差点詳細	12
(11)交通事故死者数ワースト記録の推移	16
(12)交通関係指標の推移	16
3 愛知県内各市の交通事故発生状況	17
4 豊田市の令和4年の死亡事故	
(1)死亡事故位置図	18
(2)死亡事故一覧表（9件、12人）	19
5 豊田市の小学校区別交通事故	
(1)発生状況分布図	22
(2)発生状況一覧表	23
6 豊田市の自転車交通事故	
(1)年齢別発生状況	25
(2)時間帯別発生状況	26
(3)道路形状別発生状況	26
7 豊田市の高齢者（65歳以上）の交通事故	
(1)発生状況の推移	27
(2)時間帯別発生状況	28
(3)交通手段別発生状況	28

※本統計において構成率、指数に用いる数字の端数は四捨五入している。
したがって、構成率の合計の数字と内訳の合計が一致しない場合がある。
※一部のデータは速報のものを用いているため、前後間で合致しないことがある。
※事故データは、愛知県警察本部と豊田・足助警察署からの提供資料に基づく。
そのため、高速道路での事故は含まない。

1 豊田市の交通事故発生の推移



区分	年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
発生件数		2,603	2,385	2,205	2,156	2,311	2,202	1,857	2,000	2,006	1,866	1,565	1,435	1,093	1,019	996
指数		100	92	85	83	89	85	71	77	77	72	60	55	42	39	38
死傷者数		3,091	2,829	2,638	2,551	2,779	2,659	2,275	2,392	2,420	2,219	1,794	1,637	1,266	1,167	1,159
死者数		23	16	19	23	10	17	10	13	18	13	9	16	16	6	12
重傷者数		88	78	83	87	74	89	49	62	64	59	53	27	22	19	19
軽傷者数		2,980	2,735	2,536	2,441	2,695	2,553	2,216	2,317	2,338	2,147	1,732	1,594	1,228	1,142	1,128

※指数は平成20年を100とする。

2 豊田市の交通事故発生概要

(1) 令和4年の交通事故発生状況

令和4年に発生した交通事故は、人身事故件数が996件、死者数が12人、負傷者数が1,147人であった。

これを前年と比較すると、人身事故件数では23件(2.3%)減少し、死者数では6人(100%)増加し、負傷者数では14人(1.2%)減少した。

① 1日平均の交通事故発生数

人身事故件数……………2.7件
 死者数……………0.03人
 負傷者数……………3.1人

② 時間的発生間隔

人身事故件数……………8時間47分43秒
 死者数……………730時間0分0秒(30日10時間0分0秒)
 負傷者数……………7時間38分14秒

事故区分	令和4年	令和3年	前年対比		
			増減数	増減率(%)	
人身事故件数	996	1,019	△23	△2.3	
死者数	12	6	6	100.0	
負傷者数	計	1,147	1,161	△14	△1.2
	重傷者数	19	19	0	0
	軽傷者数	1,128	1,142	△14	△1.2

人口10万人当たりの死者数比較表

地域 年	全国		愛知県		豊田市	
	死者(人)	人口10万人当たりの死者数(人)	死者(人)	人口10万人当たりの死者数(人)	死者(人)	人口10万人当たりの死者数(人)
平成30年	3,532	2.8	189	2.5	9	2.1
令和元年	3,215	2.6	156	2.1	16	3.8
令和2年	2,839	2.3	154	2.0	16	3.8
令和3年	2,636	2.1	117	1.6	6	1.4
令和4年	2,610	2.1	137	1.8	12	2.9

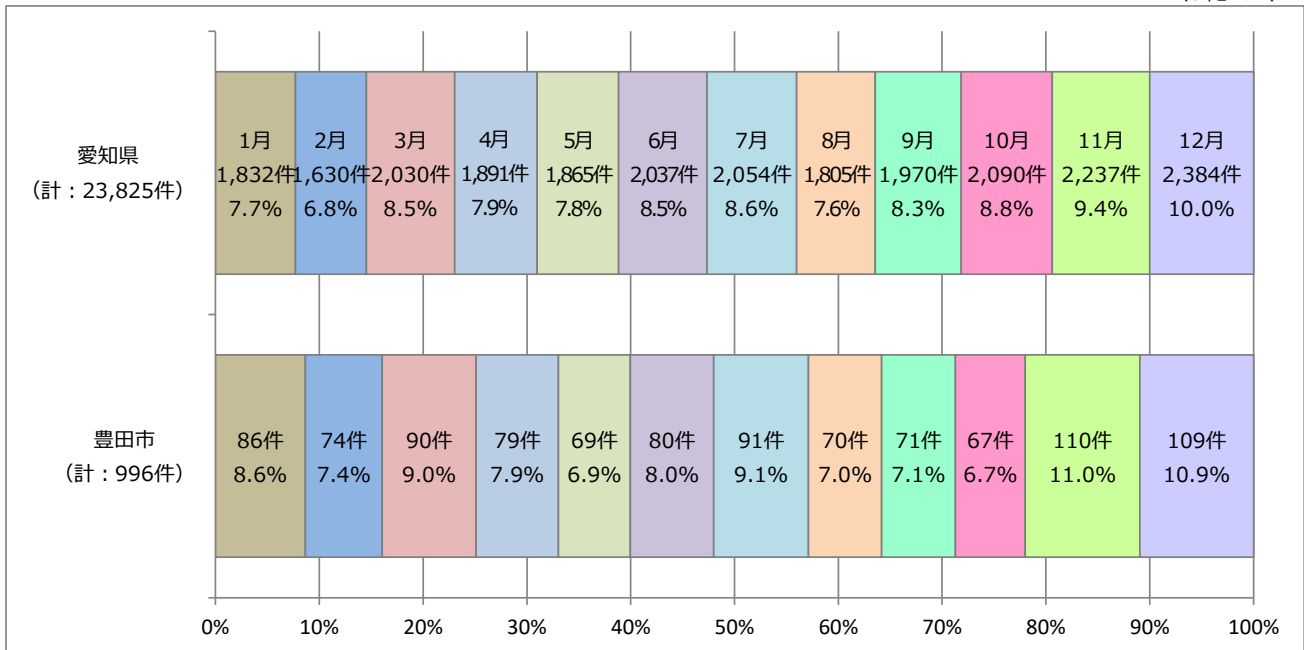
令和3年の豊田市の人口10万人当たりの死者数は、全国・愛知県より少ない。

※人口データ出典：「人口推計」(総務省)および「あいちの人口」(愛知県)

(2) 月別発生状況

① 月別件数

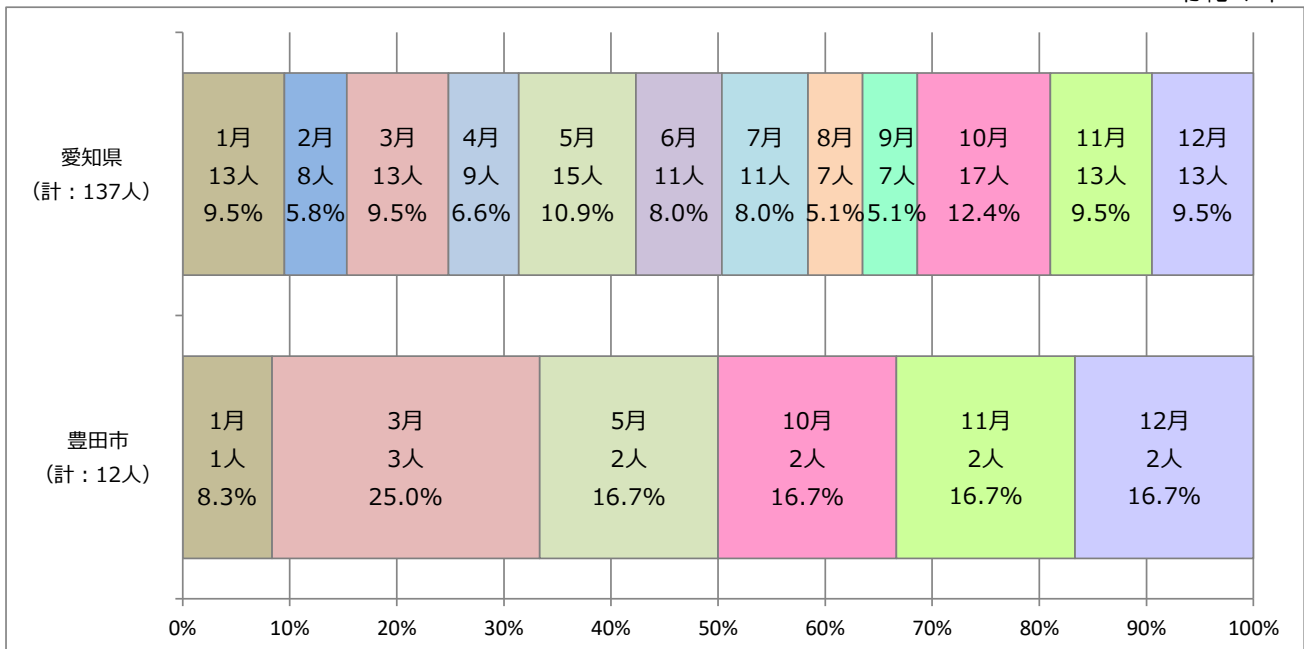
令和4年



愛知県・豊田市ともに、11月、12月が多い。また、愛知県は2月が少なく、豊田市は5月と10月が少ない。

② 月別死者数

令和4年



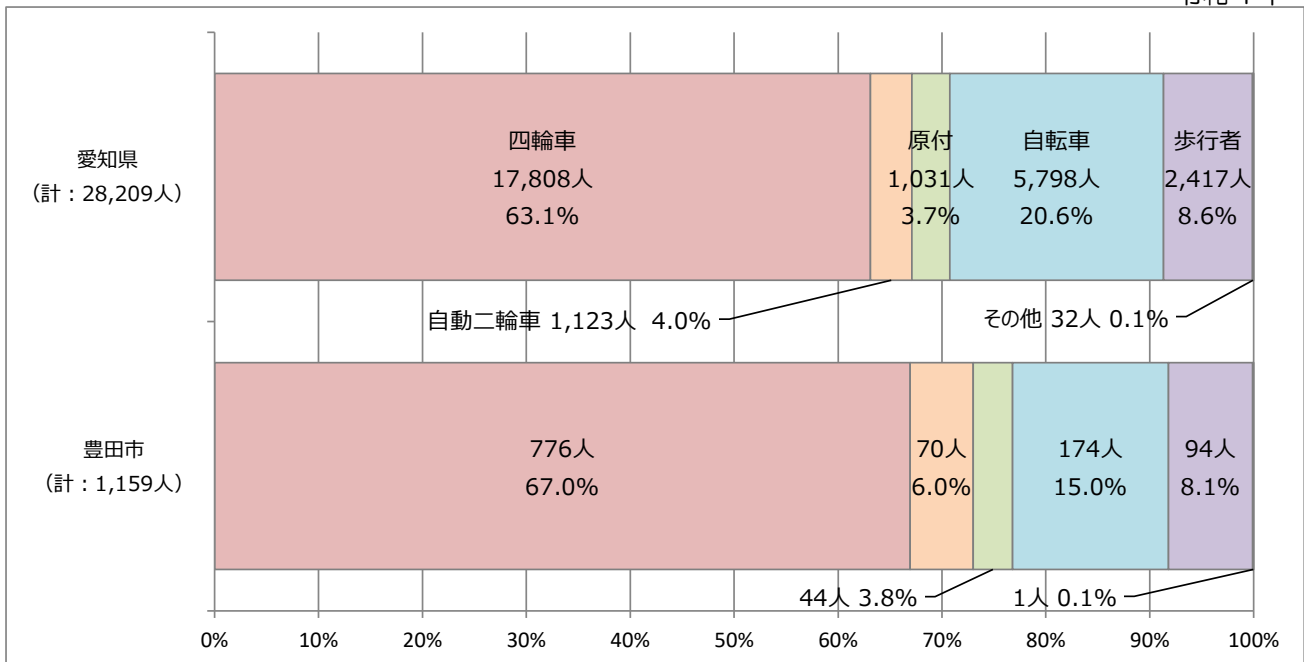
愛知県は10月が多く、豊田市は3月が多い。

※月別件数・月別死者数は、計上日に基づく。

(3) 当事者別発生状況

① 当事者別死傷者数

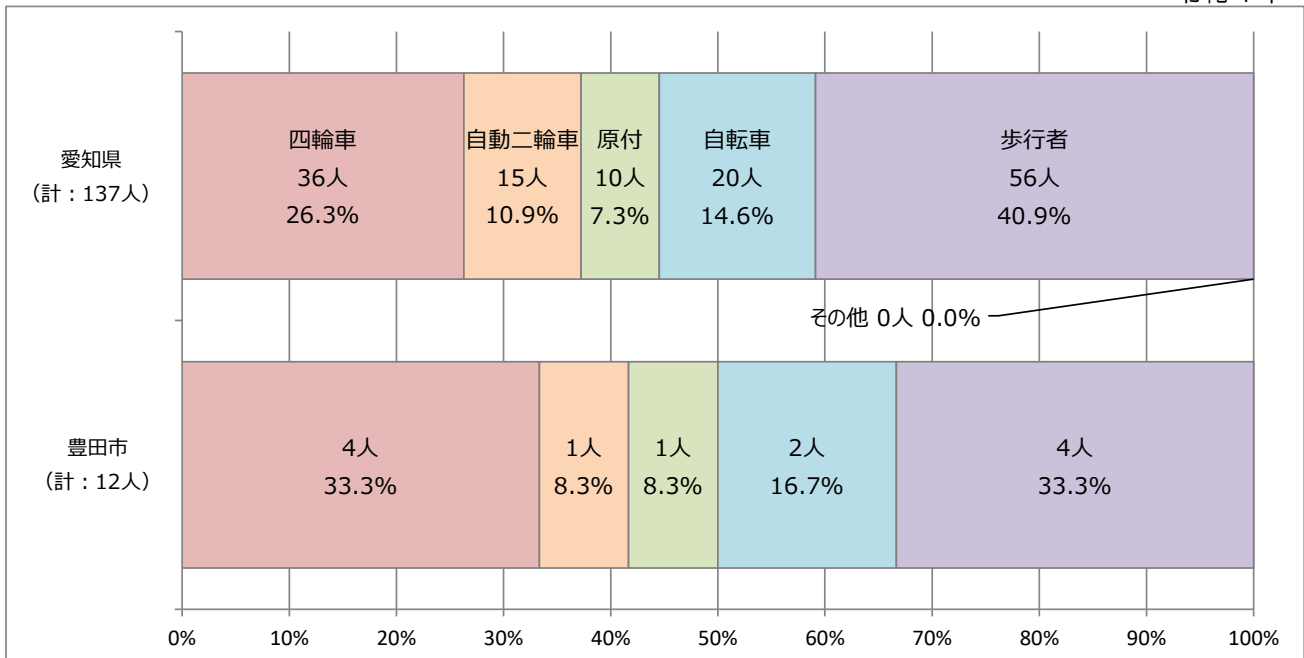
令和4年



愛知県・豊田市の死傷者数は、ともに四輪車が最も多く、次いで自転車が多い。
愛知県と比較すると、四輪車や自動二輪車の割合が高く、自転車や歩行者の割合が低い。

② 当事者別死者数

令和4年

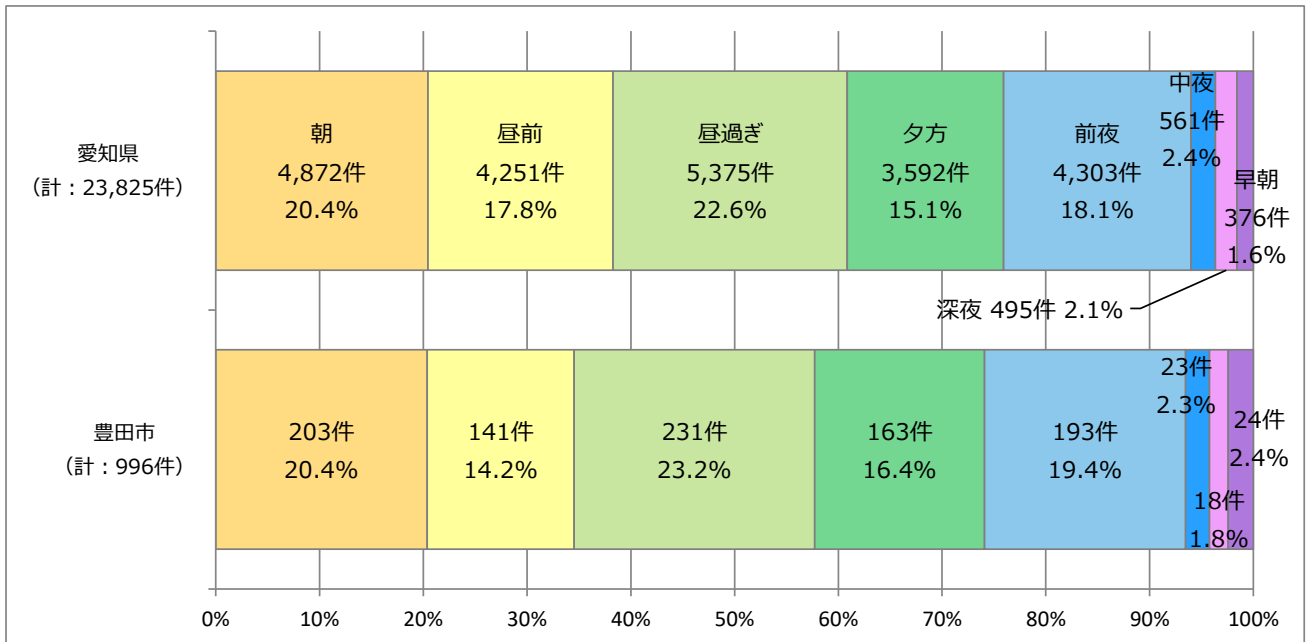


死者数が最も多いのは、愛知県では歩行者、豊田市では四輪車と歩行者である。
豊田市の死者数は、愛知県と比較して四輪車・原付・自転車の割合が高い。

(4) 時間帯別発生状況

① 時間帯別件数

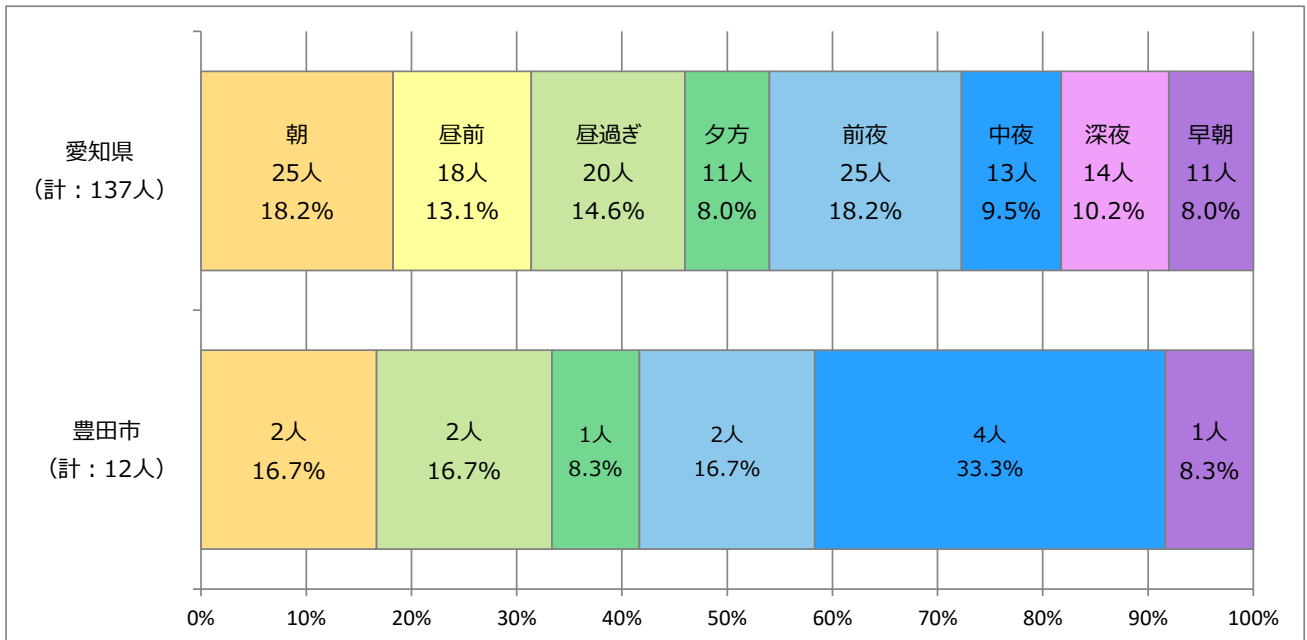
令和4年



愛知県・豊田市ともに朝、昼過ぎ、前夜に事故が多い。

② 時間帯別死者数

令和4年



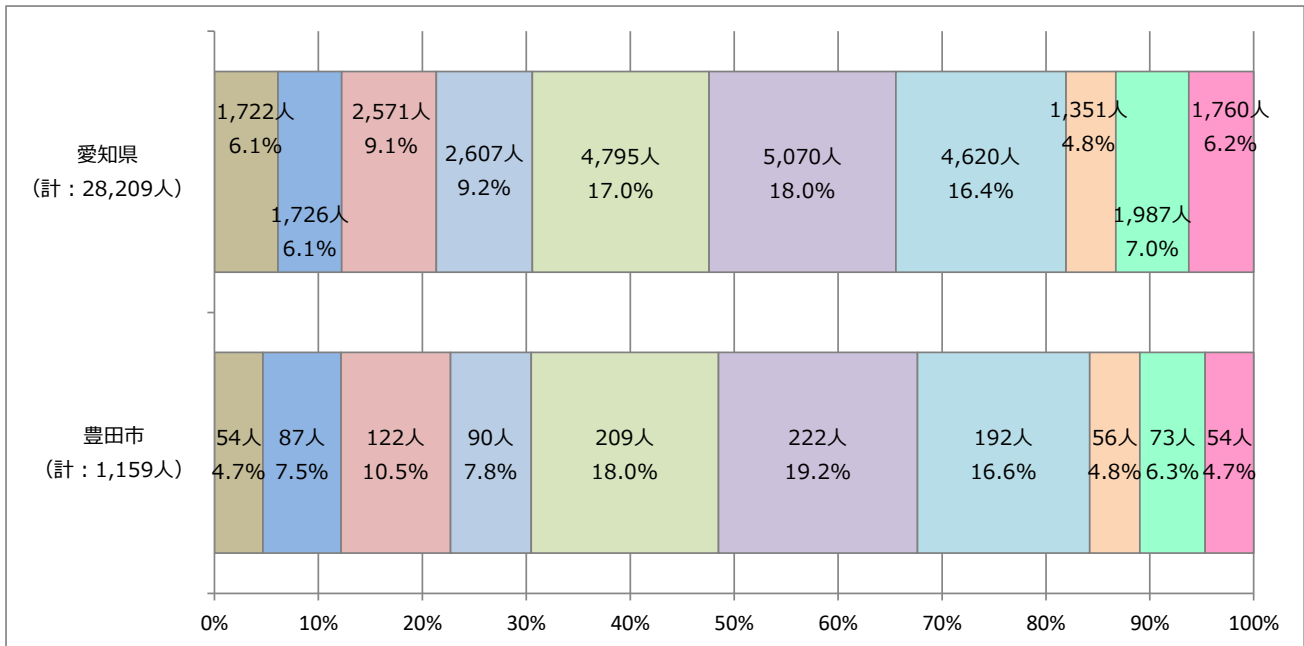
死者数が最も多いのは、愛知県では朝と前夜、豊田市では中夜である。

※時間帯は、朝（午前6時台～午前8時台）、昼前（午前9時台～午前11時台）、昼過ぎ（午後0時台～午後3時台）、夕方（午後4時台～午後5時台）、前夜（午後6時台～午後9時台）、中夜（午後10時台～午後11時台）、深夜（午前0時台～午前3時台）、早朝（午前4時台～午前5時台）を示す。

(5) 年齢別発生状況

① 年齢別死傷者数

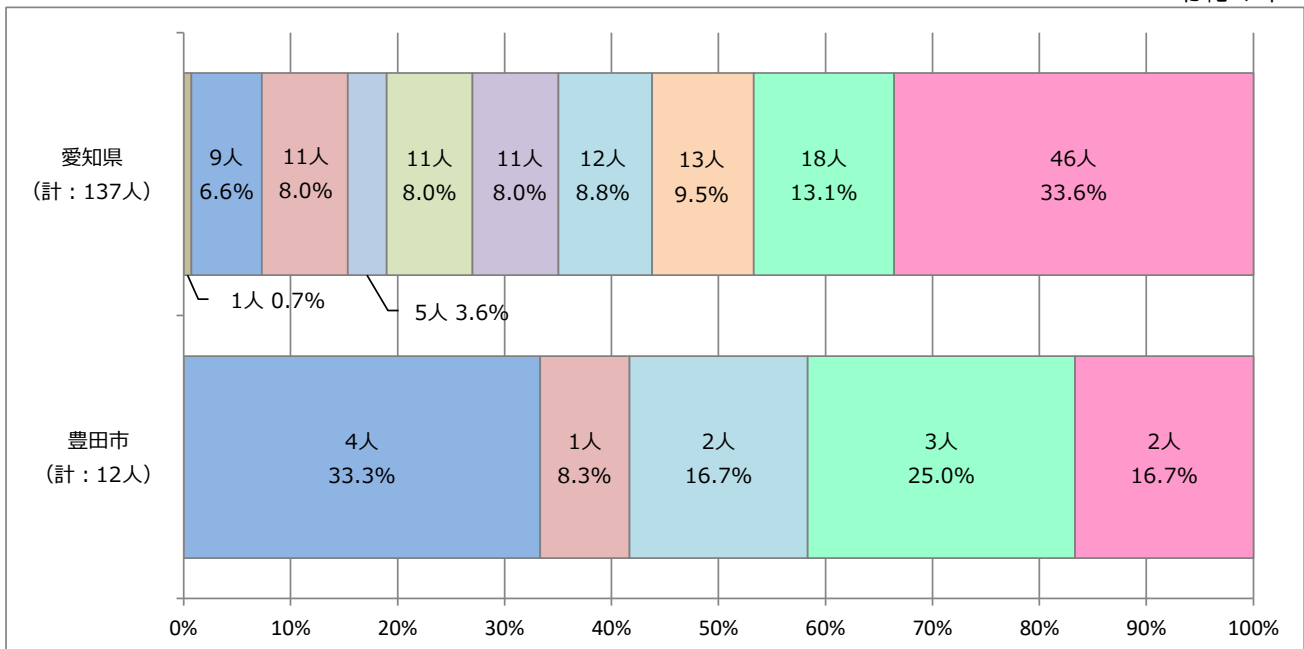
令和4年



愛知県・豊田市の死傷者数はともに 20~50 歳代が多い。

② 年齢別死者数

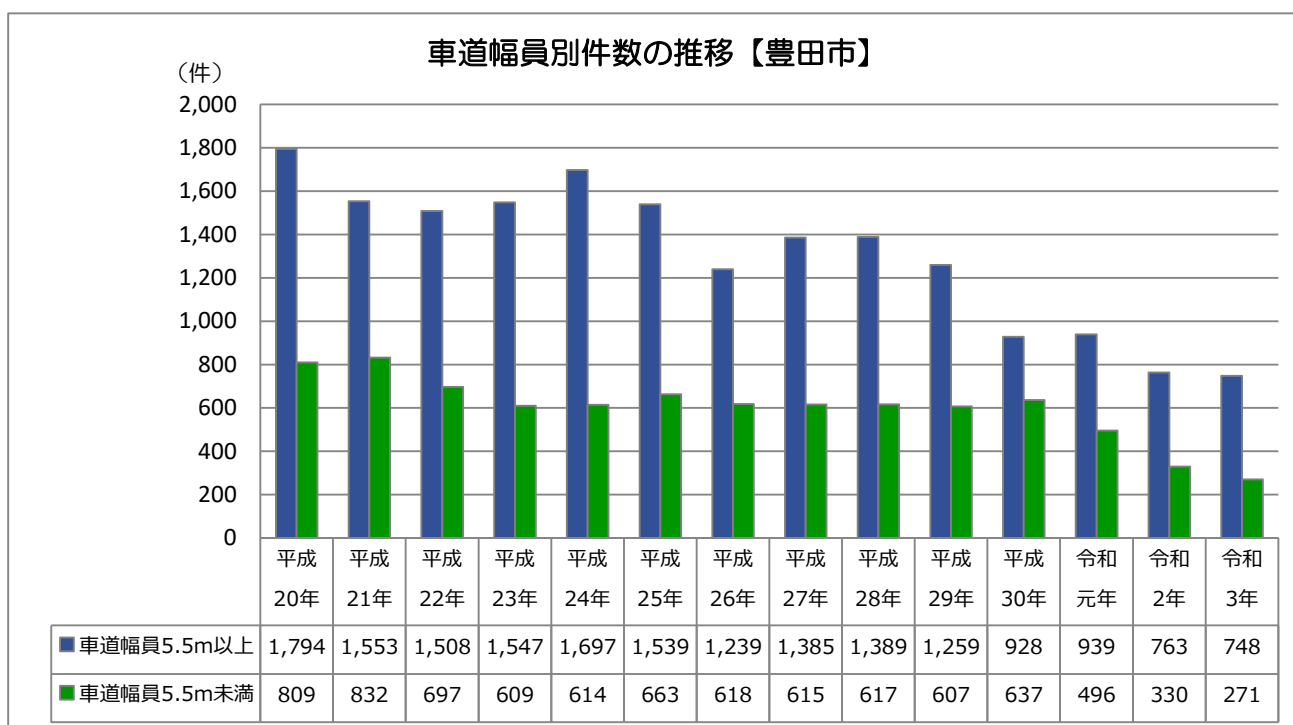
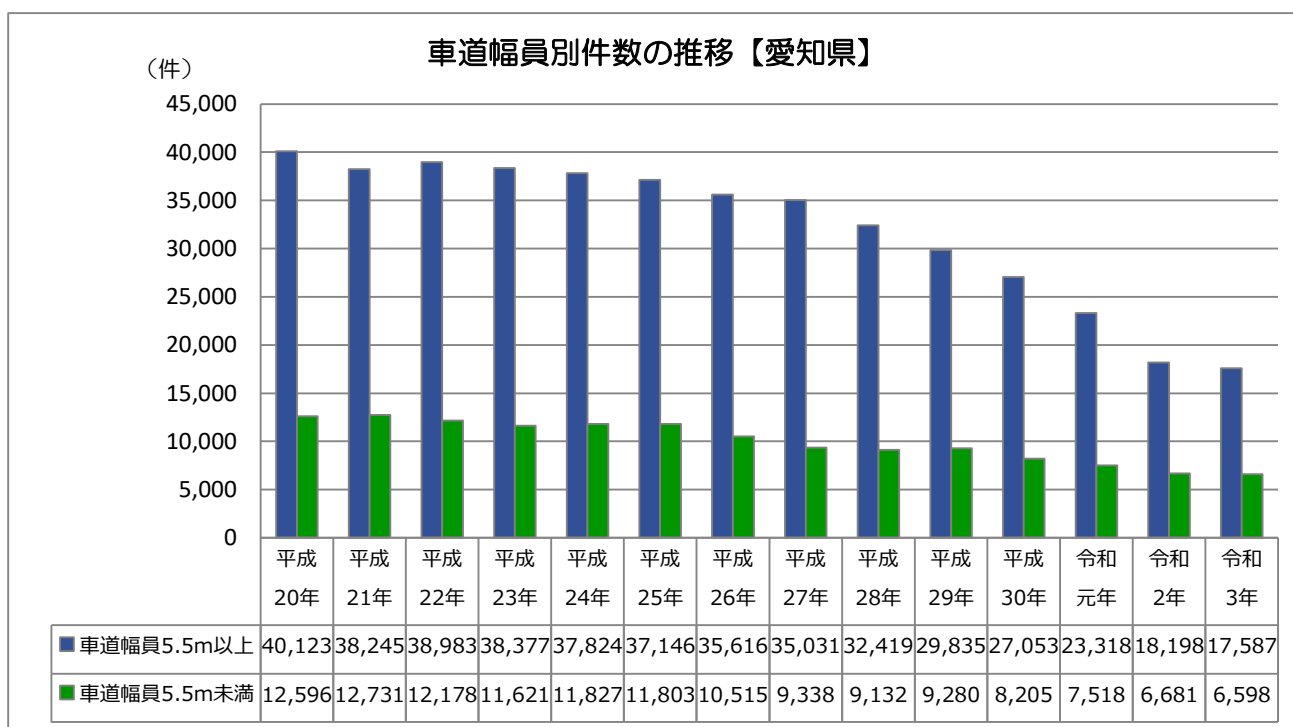
令和4年



愛知県の死者数は75歳以上の高齢者が多く、豊田市の死者数は20歳未満が多い。

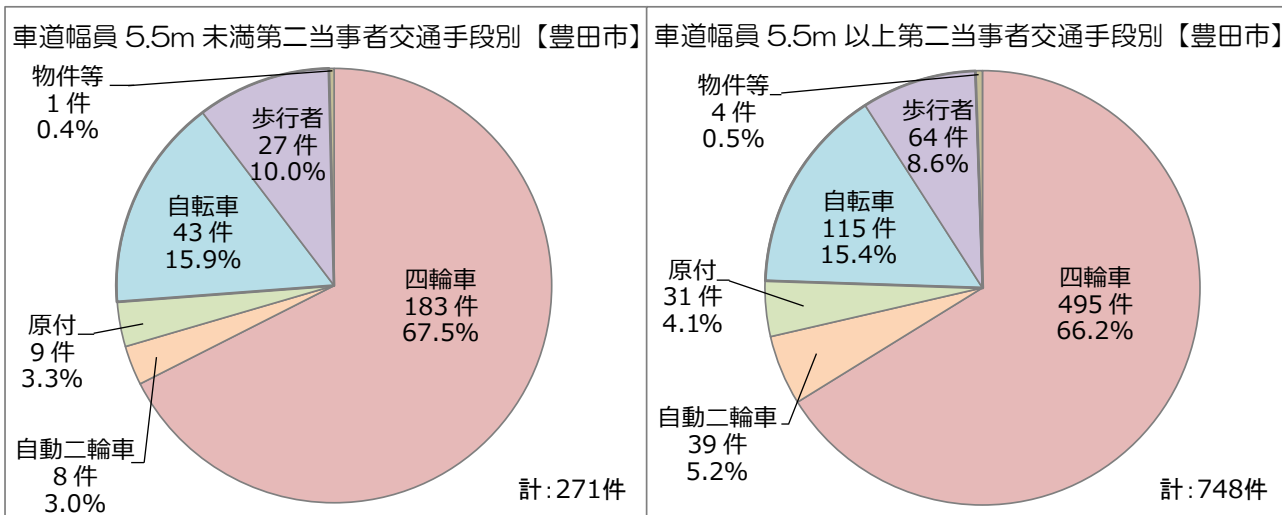
※①②の年齢区分は、■は0~15歳、■は16~19歳、■は20~24歳、■は25~29歳、■は30~39歳、■は40~49歳、■は50~59歳、■は60~64歳、■は65~74歳、■は75歳以上を示す。

(6) 車道幅員別発生状況



平成 20 年から令和 3 年までの 14 年間で、幅員 5.5m 以上の道路における事故件数は愛知県では 56%減、豊田市では 58%減と大幅に減少している。幅員 5.5m 未満の道路における事故件数は、愛知県では 48%減、豊田市では 67%減となっており、幅員 5.5m 以上の道路に比べて、愛知県は減少割合が小さく、豊田市は減少割合が大きい。

※愛知県の平成 19～23 年は平成 24 年に行われた事故件数見直し前の値であるが、誤差は僅かであり全体の傾向に影響はない。また、5.5m 未満の道路の集計値には「その他（広場等）」の発生件数も含まれている。



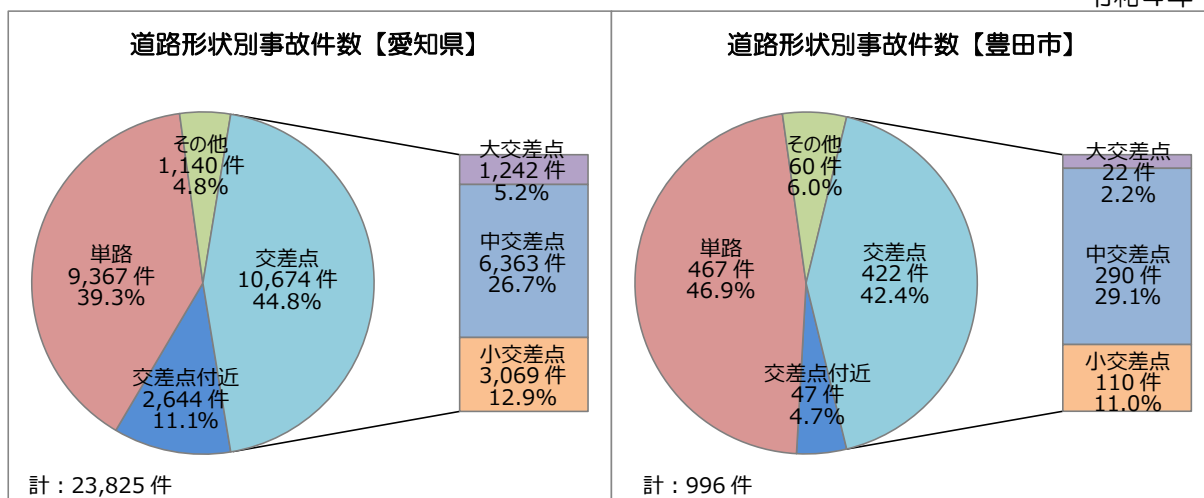
第二当事者の自転車・歩行者は車道幅員 5.5m以上と未満では割合がほぼ変わらない。



豊田市では幅員 5.5m 未満の生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域（ゾーン）を定めて時速 30 キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策「ゾーン 30」を進めている。

※生活道路・・・主として地域住民の日常生活に利用される道路で、自動車の通行よりも歩行者・自転車の安全確保が優先されるべき道路。

(7) 道路形状別発生状況

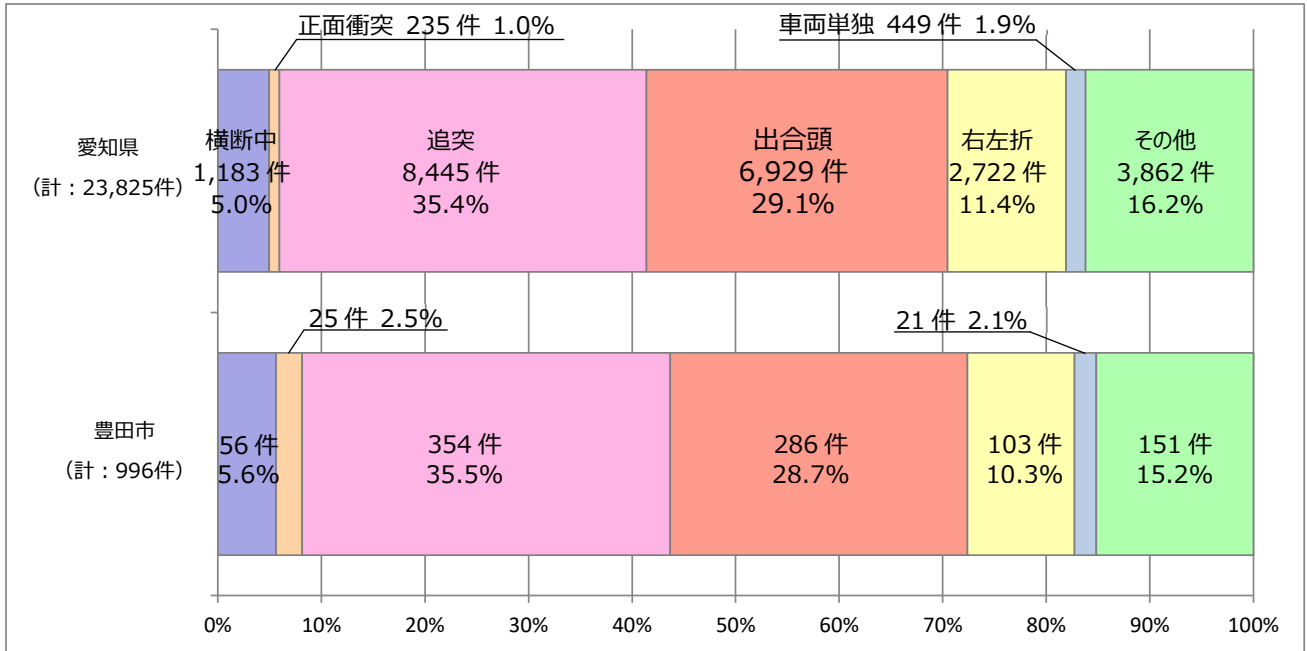


愛知県・豊田市ともに交差点、単路での事故が多い。

(8) 事故類型別発生状況

① 事故類型別件数

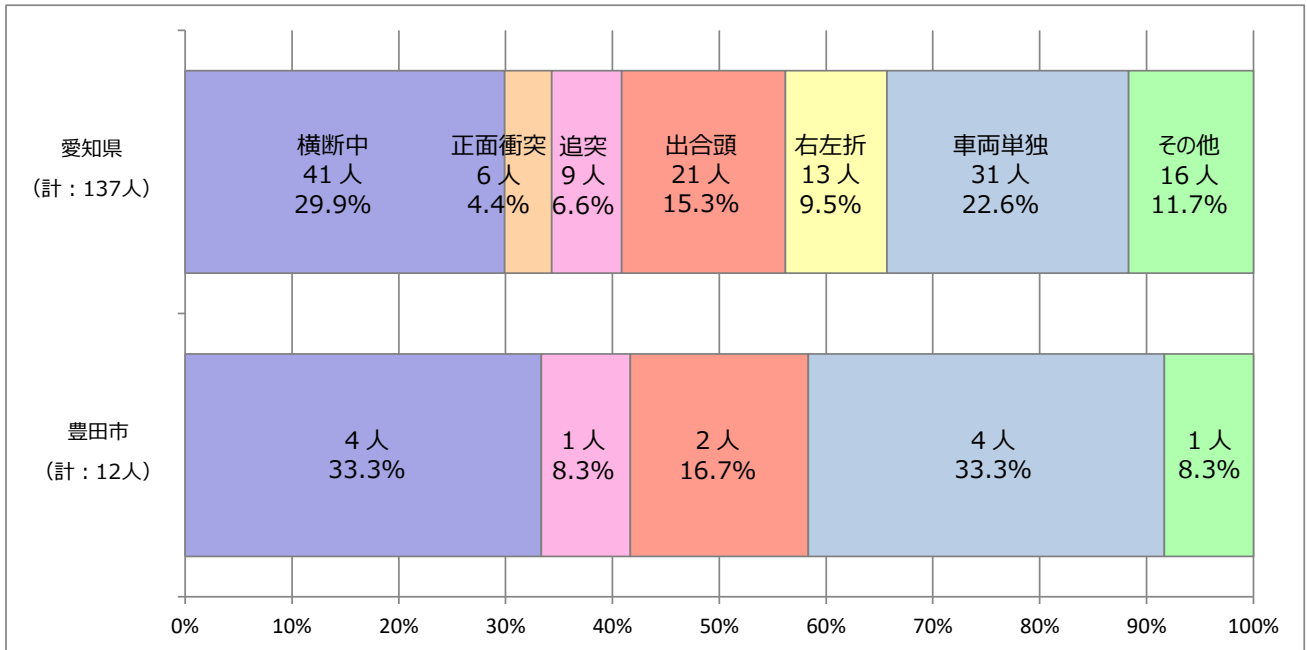
令和4年



愛知県・豊田市ともに追突、出合頭事故が多い。

② 事故類型別死者数

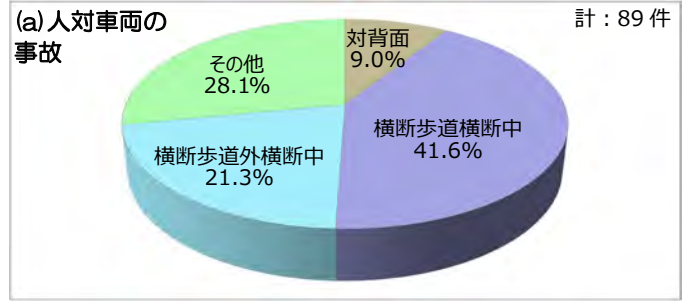
令和4年



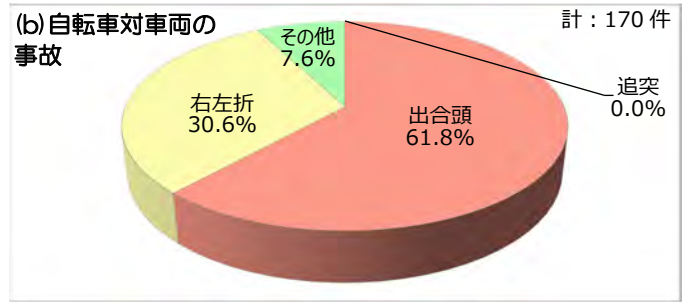
愛知県・豊田市ともに横断中、車両単独が多い。

③ 豊田市の事故類型別発生状況詳細

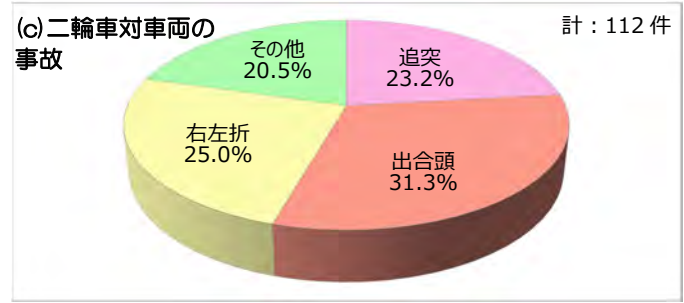
		人身事故件数		
			内) 死亡事故件数	
(a) 人対車両	対背面	8	0	
	横断歩道横断中	37	1	
	横断歩道外横断中	19	2	
	その他	25	0	
(b) 自転車対車両	追突	0	0	
	出合頭	105	1	
	右左折	52	0	
	その他	13	1	
(c) 二輪車対車両	追突	26	1	
	出合頭	35	0	
	右左折	28	0	
	その他	23	0	
(d) 自動車相互	正面	25	0	
	追突	328	0	
	出合頭	146	1	
	右左折	23	0	
	その他	82	0	
車両単独	(e) 四輪車	工作物	10	1
		逸脱	0	0
		駐車車両	0	0
		その他	4	0
	(f) 二輪車	工作物	1	1
		逸脱	2	0
		駐車車両	0	0
その他	4	0		
踏切		0	0	



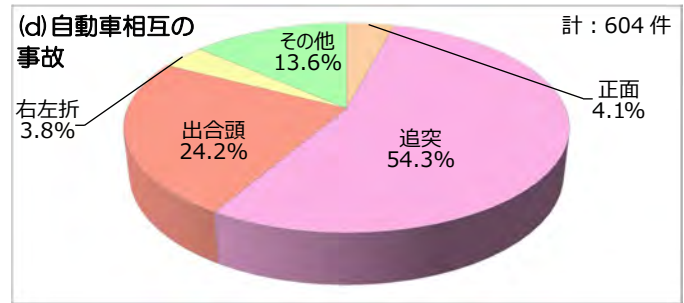
横断歩道外横断中を含め横断中の事故が多い。



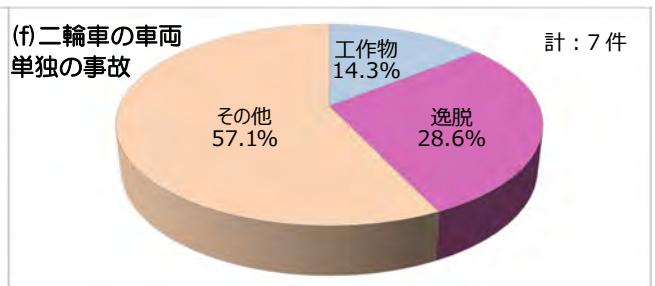
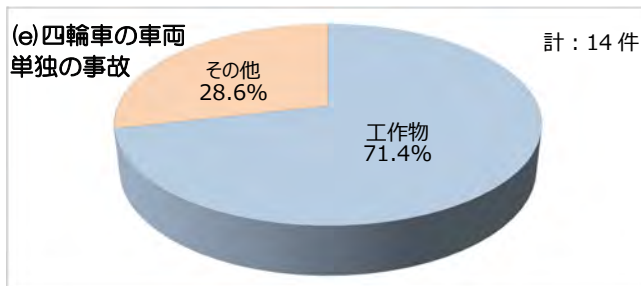
出合頭の事故が多い。



出合頭、右左折の事故が多い。



追突の事故が多い。

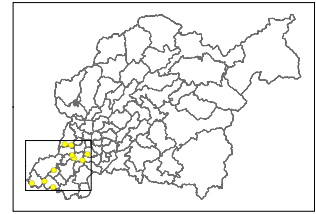


工作物による事故が多い。

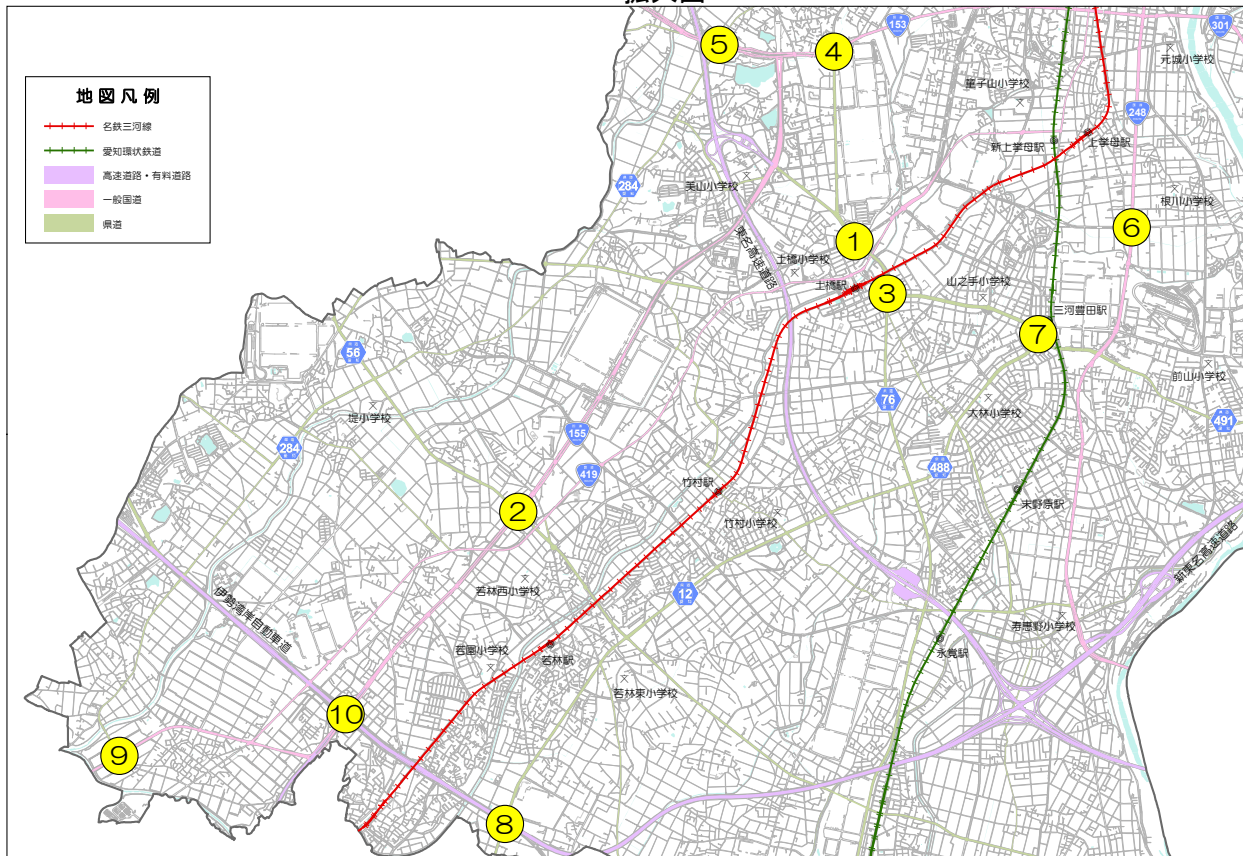
豊田市は自動車相互の追突と出合頭事故、次いで自転車対車両の出合頭事故が多い。

(9) 交通事故多発信号交差点
(平成29年～令和3年：件数)

過去5年間の総計では、「土橋町1丁目」交差点
および国道・県道の交差点が多い。



拡大図



● 内数字は、交通事故多発信号交差点（下表）の番号と対応。

番号	信号交差点名	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	総計	順位
①	土橋町1丁目	10	8	5	7	3	33	1
②	西三河車検場北	8	3	3	1	1	16	2
③	曙町	3	3	3	2	3	14	3
④	東新町2丁目	3	4	2	1	3	13	4
⑤	本新町5丁目	4	2	3	3	1	13	4
⑥	下市場町5丁目	2	2	5	2	0	11	6
⑦	山之手4丁目	4	1	4	2	0	11	6
⑧	吉原町西藤池	2	4	2	0	2	10	8
⑨	駒場町新生	1	4	0	3	2	10	8
⑩	生駒町東山	3	2	3	2	0	10	8

※事故件数は、愛知県警察本部提供データを用いて集計。

※順位は、信号交差点での平成29年～令和3年の事故件数が多い順を示す。

(10) 交通事故多発信号交差点詳細

① 土橋町1丁目



©2022 CNES / Airbus, Maxar Technologies, Planet.com

特徴

- 東西片側2車線（右折車線有）・南北片側3車線（右折車線有）の大きな交差点である。
- 北から南へ下り坂になっている。
- 右折事故11件が多く、追突事故7件と人対車両事故6件も多い。

注意ポイント

- 豊田市内で交通事故が最も多く発生している交差点です。カラー舗装されていますが、前方の安全をよく確かめましょう。
- 信号を守って余裕をもって走りましょう。
- 横断中の歩行者に注意しましょう。

② 西三河車検場北



©2022 CNES / Airbus, Maxar Technologies, Planet.com

特徴

- 東西（県道56号）、南北（国道155号）ともに片側2車線（右折車線有）の大きな交差点である。
- 右折事故と追突事故はともに6件で多い。

注意ポイント

- 右折時は対向車をよく確かめてから進みましょう。
- 進路前方の安全をよく確かめましょう。
- 十分な車間距離を保って走行しましょう。

③ 曙町



©2022 CNES / Airbus, Maxar Technologies, Planet.com

特徴

- 東側片側2車線、西側片側1車線、南側片側2車線、北側片側3車線ともに右折車線がある大きな交差点である。
- 車両その他事故4件が多く、出合頭事故3件と追突事故3件と右折事故3件も多い。

注意ポイント

- 右折時は対向車をよく確かめてから進みましょう。
- 信号を守って余裕をもって走行しましょう。
- 十分な車間距離を保って走行しましょう。

④ 東新町2丁目



©2022 CNES / Airbus, Maxar Technologies, Planet.com

特徴

- 東西（国道153号）片側2車線、南北片側1車線（但し、南側の北進方向のみ2車線）ともに右折車線がある大きな交差点である。
- 追突事故が7件で最も多い。

注意ポイント

- 進路前方の安全をよく確かめましょう。
- 急停止にならないように、十分な車間距離を保ちましょう。

⑤ 本新町5丁目



©2022 CNES / Airbus, Maxar Technologies, Planet.com

特徴

- 東西（国道153号豊田西バイパス）片側2車線（右折車線あり）と南北（県道284号）片側1車線で構成された交差点である。
- 東から西へ下り坂になっている。
- 追突事故が9件で最も多い。

注意ポイント

- 進路前方の安全をよく確かめましょう。
- 急停止にならないように、適正な車間距離を保ちましょう。

⑥ 下市場町5丁目



©2022 CNES / Airbus, Maxar Technologies, Planet.com

特徴

- 東西（内環状線）、南北（国道248号）ともに片側2車線（右折車線有）の大きな交差点である。
- 追突事故4件が多く、車両その他事故3件も多い。

注意ポイント

- 進路前方の安全をよく確かめましょう。
- 信号を守って余裕をもって走行しましょう。

⑦ 山之手4丁目



©2022 CNES / Airbus, Maxar Technologies, Planet.com

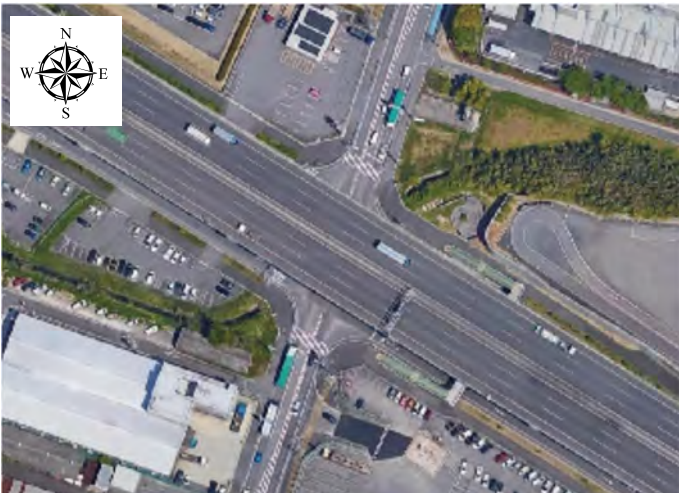
特徴

- 東西（県道 491 号）、南北（県道 488 号）ともに片側 2 車線（右折車線有）の大きな交差点である。
- 右折事故、追突事故、車両その他事故はともに 3 件が多い。

注意ポイント

- 右折時は対向車をよく確かめてから進みましょう。
- 十分な車間距離を保って走行しましょう。

⑧ 吉原町西藤池



©2022 CNES / Airbus, Maxar Technologies, Planet.com

特徴

- 伊勢湾岸自動車道の高架下にあり、東西（県道 12 号）、南北（県道 56 号）ともに、片側 1 車線（右折車線あり）の交差点である。
- 右折事故 4 件と車両その他事故 3 件が多い。

注意ポイント

- 右折時は対向車をよく確かめてから進みましょう。
- あわてず、余裕をもって走行しましょう。

⑨ 駒場町新生



©2022 CNES / Airbus, Maxar Technologies, Planet.com

特徴

- 東西（国道 155 号）片側 2 車線（右折車線あり）と南北（県道 284 号）片側 1 車線（右折車線あり）で構成された交差点である。
- 追突事故が 6 件で最も多い。

注意ポイント

- 進路前方の安全をよく確かめましょう。
- 信号を守って余裕をもって走行しましょう。

⑩ 生駒町東山



©2022 CNES / Airbus, Maxar Technologies, Planet.com

特徴

- 伊勢湾岸自動車道および衣浦豊田道路の高架下にあり、東西、南北ともに片側2車線（右折車線あり）の大きな交差点である。
- 追突事故が8件で最も多い。

注意ポイント

- 進路前方の安全をよく確かめましょう。
- 急停止にならないように、適正な車間距離を保ちましょう。

信号のない交差点のルール



交差する道路の左側から進行してくる車両の通行を妨げない。



道路標識等により優先道路と指定されている道路を進行してくる車両の通行を妨げない。



中央線または車両通行帯が設けられている道路を進行してくる車両の通行を妨げない。



道幅が明らかに広い道路を進行してくる車両の通行を妨げない。

- 優先道路か道幅の広い道路に進入するときは、車両等の有無に関わらず、徐行する。
- 交差点を通行するときは、歩行者、自転車、車などに、特に注意する。

(11) 交通事故死者数ワースト記録の推移

※名古屋市を除く。

年 ワースト 順位	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	市	死者数	市	死者数	市	死者数	市	死者数	市	死者数
1	豊橋市	12	豊田市	16	豊田市	16	岡崎市	8	豊田市	12
2	岡崎市	11	豊橋市	12	岡崎市	9	一宮市	7	春日井市	7
3	豊田市 春日井市	9	一宮市 豊川市	8	小牧市 一宮市	7	豊田市 豊橋市	6	安城市 一宮市 岡崎市	6
4										
5	一宮市	7	西尾市	7	蒲郡市	6	稲沢市 春日井市	5		

令和4年の豊田市の交通事故死者数は、愛知県内で名古屋市を除いて「ワースト1位」である。

(12) 交通関係指標の推移

指標	年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
交通事故死者数		9	16	16	6	12
車両保有台数 (各年3月末時点)		348,567	348,546	350,450	349,956	348,759
免許保有者数 (各年12月28日時点)		306,463	306,018	304,434	303,239	302,213
人口 (各翌年1月1日時点)		425,475	424,902	422,046	418,294	416,468

交通事故死者数は多く、車両保有台数・免許保有者数・人口は少なくなった。

※車両保有台数出典：「市町村別保有車両数」（愛知運輸支局）および「軽自動車車両数」（全国軽自動車協会連合会）

※免許保有者数出典：「運転免許人口」（愛知県警察）

※人口データ出典：「あいちの人口」（愛知県）

3 愛知県内各市の交通事故発生状況

	令和4年					令和3年				
	発生件数 (件)	死者 (人)	負傷者(人)	人口1万人 当りの 死者数 (人)	発生 件数 順位	発生件数 (件)	死者 (人)	負傷者(人)	人口1万人 当りの 死者数 (人)	発生 件数 順位
全 国	301,193	2,610	356,419	0.21		305,425	2,636	361,768	0.21	
愛 知 県	23,825	137	28,072	0.18		24,185	117	28,631	0.16	
名古屋市	8,063	30	9,425	0.13		8,224	22	9,617	0.09	
一宮市	1,260	6	1,479	0.16	1	1,115	7	1,299	0.19	2
豊橋市	1,224	4	1,429	0.11	2	1,478	6	1,736	0.16	1
春日井市	1,129	7	1,322	0.23	3	1,101	5	1,306	0.16	3
豊田市	996	12	1,147	0.29	4	1,019	6	1,161	0.14	4
岡崎市	891	6	1,011	0.16	5	971	8	1,113	0.21	5
安城市	606	6	709	0.32	6	515	4	584	0.21	9
小牧市	541	0	620	0.00	7	504	1	588	0.07	10
豊川市	515	2	593	0.11	8	565	4	657	0.22	6
瀬戸市	448	3	538	0.24	9	452	0	549	0.00	11
西尾市	427	3	490	0.18	10	516	4	611	0.24	8
刈谷市	425	1	488	0.07	11	534	3	654	0.20	7
江南市	424	2	492	0.21	12	321	0	385	0.00	14
半田市	412	1	463	0.09	13	445	2	530	0.17	12
稲沢市	381	5	436	0.38	14	419	5	470	0.37	13
蒲郡市	294	4	362	0.51	15	276	2	347	0.25	15
日進市	275	1	317	0.11	16	260	2	313	0.22	16
東海市	256	1	279	0.09	17	255	0	298	0.00	18
あま市	243	0	282	0.00	18	228	3	280	0.35	20
北名古屋市	240	2	268	0.23	19	234	1	284	0.12	19
尾張旭市	230	0	284	0.00	20	256	0	316	0.00	17
清須市	225	1	273	0.15	21	226	2	273	0.30	21
犬山市	199	0	244	0.00	22	159	0	183	0.00	30
大府市	198	0	219	0.00	23	221	0	241	0.00	22
知立市	189	2	221	0.28	24	191	0	240	0.00	26
弥富市	179	4	208	0.94	25	187	0	218	0.00	27
長久手市	176	1	219	0.16	26	192	4	223	0.66	25
岩倉市	172	1	194	0.21	27	120	0	134	0.00	35
知多市	172	0	209	0.00	27	166	0	199	0.00	29
常滑市	169	1	213	0.17	29	121	1	164	0.17	33
碧南市	168	3	192	0.42	30	156	1	174	0.14	31
津島市	162	2	182	0.33	31	175	2	210	0.33	28
豊明市	160	1	196	0.15	32	193	0	220	0.00	23
田原市	148	1	190	0.17	33	143	2	169	0.34	32
みよし市	137	0	161	0.00	34	193	1	215	0.16	23
愛西市	121	0	157	0.00	35	120	2	152	0.33	35
高浜市	121	1	135	0.22	35	121	0	138	0.00	33
新城市	70	2	81	0.47	37	77	2	89	0.46	37

※全国データ出典：「交通事故発生状況」令和4年中（警察庁ホームページの統計）

※愛知県下各市データ出典：「愛知県の交通事故発生状況」令和4年中（愛知県警察）

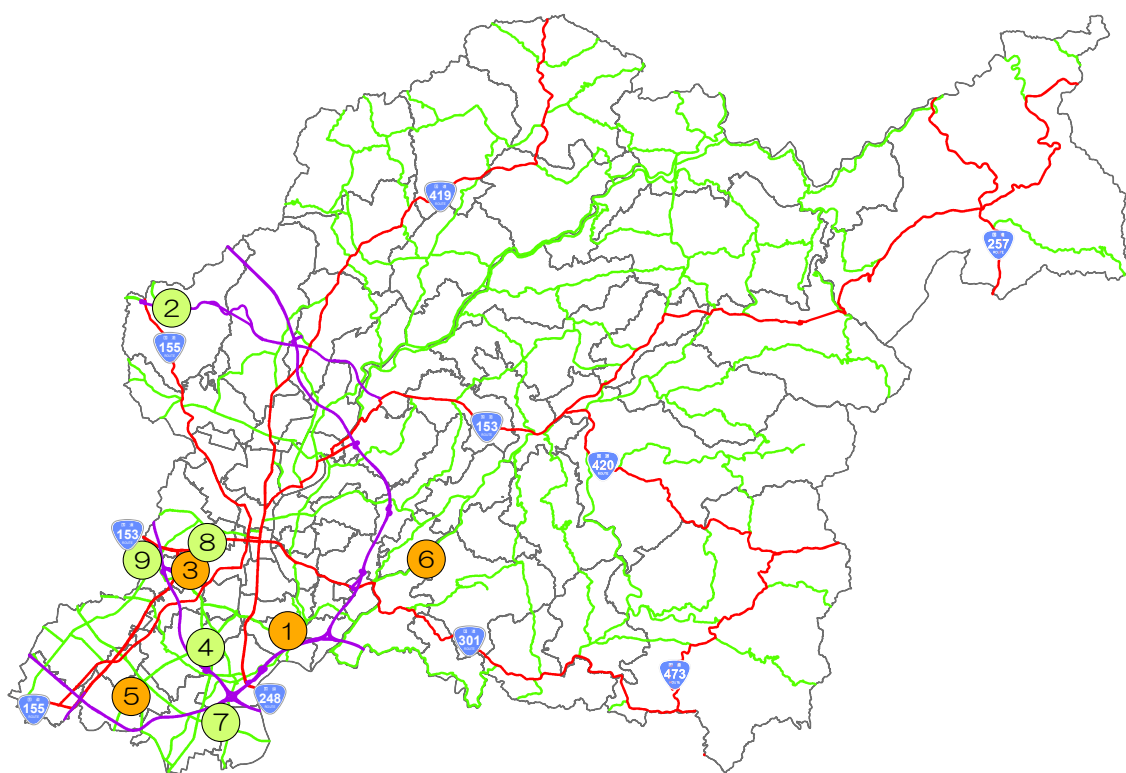
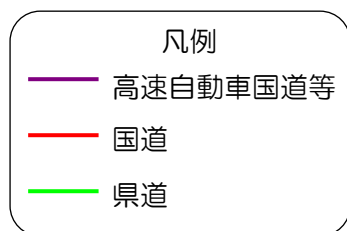
※人口データ出典：「人口推計」（総務省）および「あいちの人口」（愛知県）

※発生件数順位は、名古屋市を除く愛知県内の各市を対象としている。

豊田市の交通事故発生件数は、愛知県内で名古屋市を除いて「ワースト4位」である。

4 豊田市の令和4年の死亡事故

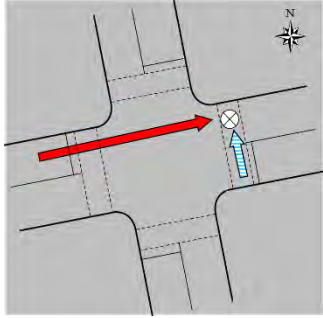
(1) 死亡事故位置図



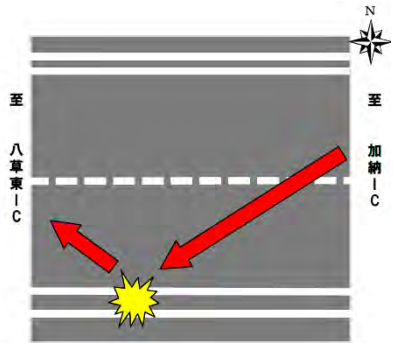
● は死者が65歳未満、● は死者が65歳以上の死亡事故。数字は(2)死亡事故一覧表に対応。
なお、死者が2名以上で65歳以上の死者を含む場合は、● で示す。

(1) 死亡事故一覧表 (9件、12人)

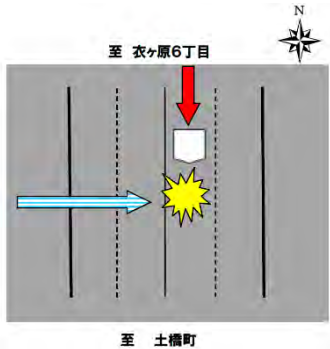
計上日：1月11日

1	日時		1月11日 (火)	
			午前6時15分頃	
	場所		水源町	
	事故概要		人対車両	
	当事者	死者	歩行者：70歳代 (女性)	
相手		普通乗用：20歳代 (男性)		
<p>※運転者は信号を守り、交差点を安全に通行しましょう。特に、横断中の歩行者に注意しましょう。 ※自動車運転中は、ハイビームを有効活用しましょう。</p>				

計上日：不明

2	日時		3月27日 (日)	
			午後11時35分頃	
	場所		八草町	
	事故概要		車両単独	
	当事者	死者	普通乗用 (運転者)：10歳代 (男性) (同乗者)：10歳代 (男性)・(女性)	
相手		(法面)		
<p>※自動車は深夜運転の際、運転速度を控えて、安全運転に注意しましょう。 ※進路前方の安全をよく確かめ、確実なハンドル、ブレーキ操作に努めましょう。</p>				

計上日：5月5日

3	日時		5月4日 (水)	
			午後7時35分頃	
	場所		元町	
	事故概要		人対車両	
	当事者	死者	歩行者：70歳代 (男性)・(女性)	
相手		普通乗用：40歳代 (男性)		
<p>※自動車は速度を控えた運転をしましょう。また、夜間運転はハイビームを有効活用しましょう。 ※歩行者は、明るい服装を心掛け、道路横断時は横断歩道等を利用しましょう。</p>				

計上日：10月4日

4	日時		10月4日 (火)	
			午後10時20分頃	
	場所		永覚新町	
	事故概要		車両単独	
	当事者	死者	自動二輪：10歳代（男性）	
相手		(路面)		
<p>※二輪車事故の衝撃を軽減するため、プロテクターやエアバッグジャケットを着用しましょう。 ※二輪車運転時は、走行速度を控え、安全運転を心掛けましょう。</p>				

計上日：10月27日

5	日時		10月27日 (木)	
			午後5時25分頃	
	場所		若林東町	
	事故概要		人対車両	
	当事者	死者	歩行者：80歳代（女性）	
相手		軽四乗用：30歳代（男性）		
<p>※自動車は、道路を横断する歩行者等がないか、よく確認しましょう。 ※歩行者は、明るい服装を心掛け、道路横断時は横断歩道等を利用しましょう。</p>				

計上日：11月17日

6	日時		11月17日 (木)	
			午後1時35分頃	
	場所		王滝町	
	事故概要		車両相互	
	当事者	死者	自転車：70歳代（男性）	
相手		軽四乗用：70歳代（男性）		
<p>※運転中は、前方をよく確認して進み、中央線をはみ出さないように注意しましょう。 ※自転車乗車時は、ヘルメットを着用しましょう。</p>				

計上日：11月22日

7	日時		11月22日 (火)	
			午前6時55分頃	
	場所		上郷町	
	事故概要		車両相互	
	当事者	死者	原付：50歳代（男性）	
相手		大型特殊：60歳代（男性）		
<p>※車両を運転するときは、前方左右をよく確認しましょう。 ※大きな車両ほど、死角が多いので注意して運転しましょう。</p>				

計上日：12月9日

8	日時		12月9日 (金)	
			午前5時50分頃	
	場所		広久手町	
	事故概要		車両相互	
	当事者	死者	自転車：20歳代（男性）	
相手		準中型貨物：50歳代（男性）		
<p>※自転車は道路を横断する際に、信号のある交差点や横断歩道を利用しましょう。 ※自動車は速度の出しすぎに注意し、ハイビームを有効活用しましょう。</p>				

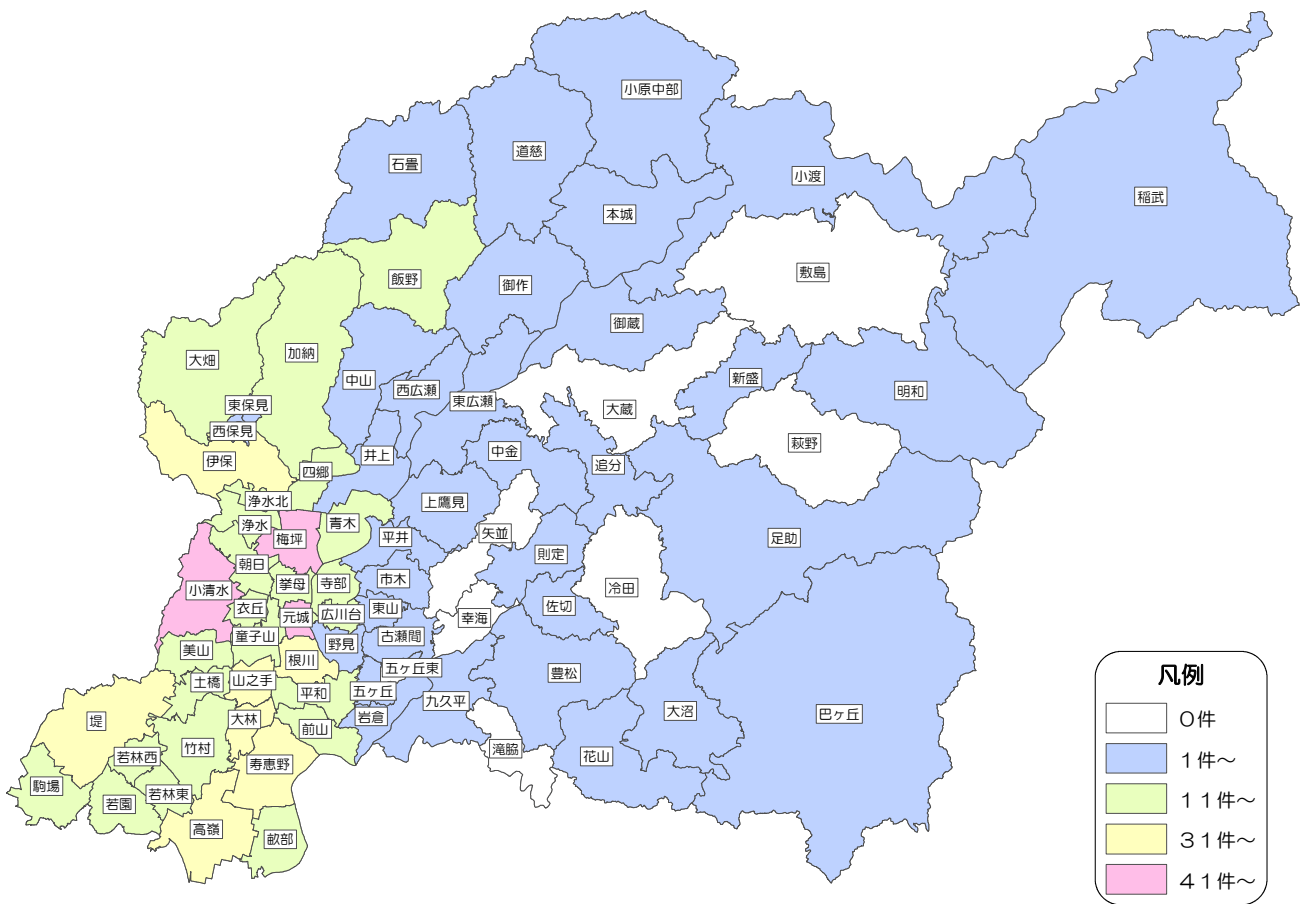
計上日：12月10日

9	日時		12月10日 (土)	
			午後3時頃	
	場所		千足町	
	事故概要		車両相互	
	当事者	死者	軽四貨物：50歳代（男性）	
相手		軽四乗用：20歳代（男性）		
<p>※一時停止がある交差点では、必ず一時停止し、左右の安全を確認して通過しましょう。 ※見通しが良い無信号交差点でも、左右の安全をよく確認しましょう。</p>				

5 豊田市の小学校区別交通事故

(1) 発生状況分布図

令和4年事故
996件



交通量が多い南部・西部に事故が集中している。

(2) 発生状況一覧表

発生件数は「小清水・元城小学校区」が最も多い。

	令和4年				令和3年			
	発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数	発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数
童子山	26	0	0	28	29	0	0	29
拳母	27	0	0	31	31	0	1	33
根川	32	0	0	37	26	0	1	28
小清水	45	1	1	53	61	0	0	69
前山	26	1	0	27	18	0	0	20
山之手	31	0	0	34	33	0	0	38
美山	24	2	1	24	20	0	0	22
寺部	15	0	0	16	19	0	0	21
平井	7	0	0	8	4	0	0	4
野見	10	0	0	11	21	0	0	24
古瀬間	4	0	0	4	9	0	1	12
矢並	0	0	0	0	1	0	0	1
高嶺	40	0	0	49	30	0	0	35
寿恵野	37	0	0	38	44	0	0	48
畝部	16	1	0	15	17	0	0	19
堤	37	0	0	41	50	0	1	60
若園	27	0	0	29	36	0	0	41
竹村	30	0	0	35	33	0	0	36
駒場	20	0	0	24	27	0	0	31
大林	33	1	0	35	36	0	1	39
大畑	16	3	0	19	17	1	0	17
伊保	36	0	0	45	29	0	1	33
加納	19	0	0	24	22	0	1	26
青木	23	0	1	26	21	0	0	23
西広瀬	4	0	0	4	7	0	1	6
東広瀬	6	0	1	8	2	0	0	2
中金	3	0	0	6	2	0	0	4
上鷹見	3	0	0	3	3	0	0	4
幸海	0	0	0	0	1	0	0	1
岩倉	3	0	0	6	1	0	0	1
九久平	6	1	0	7	2	0	0	2
滝脇	0	0	0	0	1	0	0	2
豊松	2	0	0	2	3	0	0	4
東山	9	0	0	10	11	0	0	14
元城	45	0	0	57	30	1	1	33
梅坪	42	0	1	44	38	0	1	45
朝日	23	0	0	28	23	0	0	28
若林東	25	1	1	25	22	0	0	24
東保見	3	0	0	6	4	0	1	3
四郷	15	0	1	15	23	0	0	27
浄水	22	0	1	24	22	0	1	22
平和	17	0	0	21	16	0	0	17

(続き)

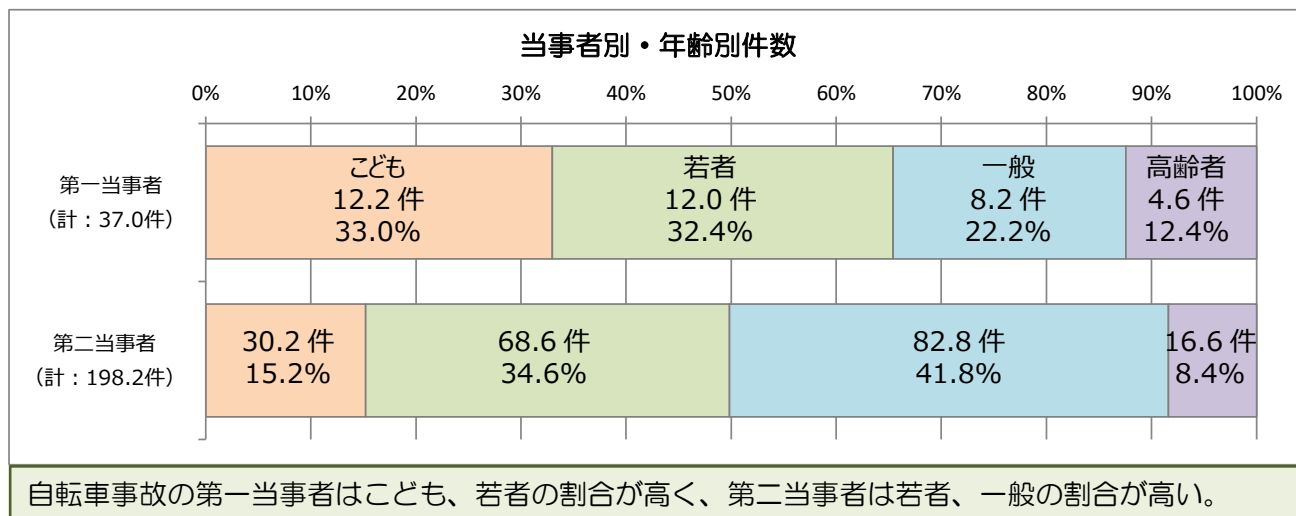
	令和4年				令和3年			
	発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数	発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数
市木	7	0	1	6	8	0	1	7
若林西	13	0	0	14	15	0	0	19
衣丘	26	1	1	24	25	0	0	30
土橋	29	0	0	34	29	0	0	33
広川台	14	0	2	17	19	0	1	19
井上	6	0	0	6	8	0	0	8
五ヶ丘	4	0	0	4	5	0	0	5
西保見	1	0	0	1	0	0	0	0
五ヶ丘東	0	0	0	0	2	0	0	2
飯野	12	0	0	13	13	0	1	15
石豊	3	0	0	4	1	0	0	1
御作	1	0	0	1	3	0	0	3
中山	6	0	0	8	7	0	0	7
道慈	2	0	0	3	1	0	0	1
本城	1	0	0	1	0	0	0	0
小原中部	3	0	0	5	0	0	0	0
足助	8	0	2	7	8	0	0	13
冷田	0	0	0	0	0	0	0	0
追分	7	0	1	6	2	0	0	2
佐切	1	0	0	1	0	0	0	0
則定	2	0	0	3	1	0	0	1
萩野	0	0	0	0	0	0	0	0
明和	1	0	1	0	0	0	0	0
新盛	3	0	0	3	2	0	0	3
大蔵	0	0	0	0	1	0	1	1
御蔵	1	0	0	1	1	0	1	0
花山	5	0	1	5	2	1	2	1
大沼	3	0	0	3	1	0	0	1
巴ヶ丘	1	0	0	1	0	0	0	0
小渡	5	0	1	5	2	0	0	3
敷島	0	0	0	0	0	0	0	0
稲武	7	0	1	8	11	3	0	12
浄水北	15	0	0	25	7	0	0	7
計	996	12	19	1,128	1,019	6	19	1,142

※発生件数はワースト5位以内に着色、死者数は2人以上に着色。

6 豊田市の自転車交通事故

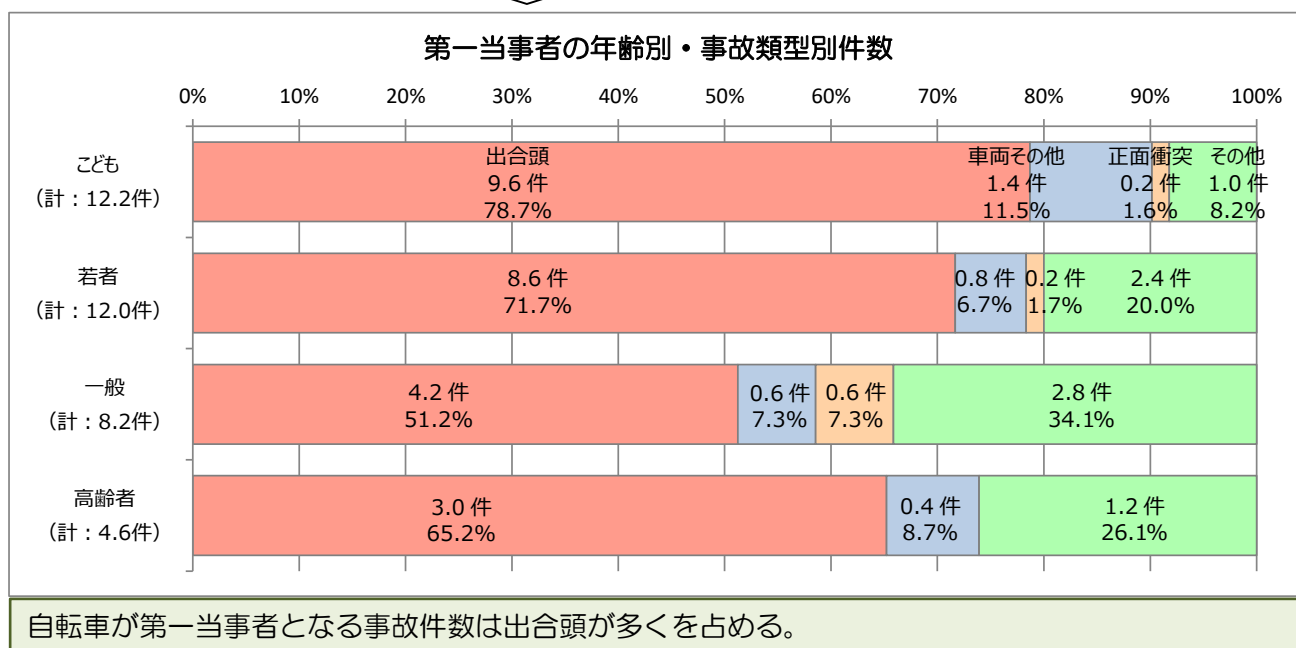
(1) 年齢別発生状況

平成29年～令和3年の平均件数



第一当事者について
詳しく見てみると・・・

平成29年～令和3年の平均件数



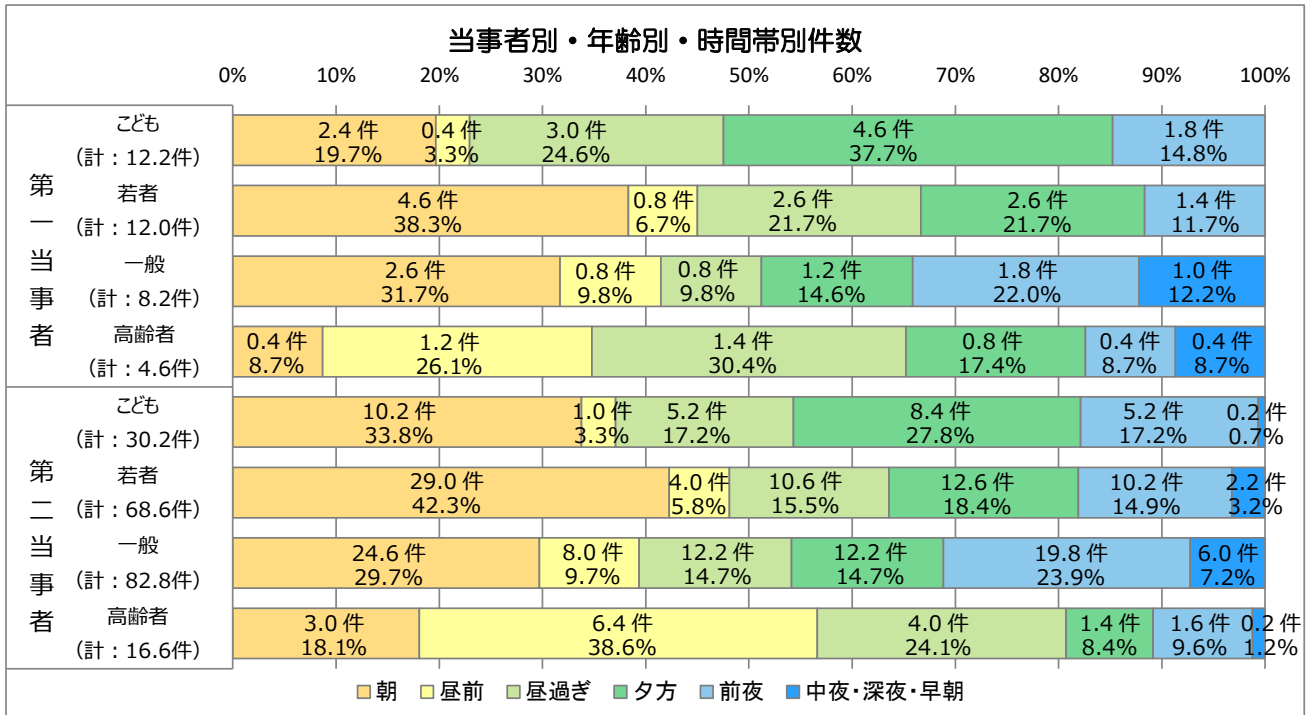
保護者の方へ

- お子さんが自転車に乗り始めたら、一時停止の標識のあるところや道路に出るときは、必ず止まって安全確認をするように教えましょう。
- 自転車に乗るときは、ヘルメットを着用し、自転車保険に加入しましょう。

※子どもは0～15歳、若者は16～24歳、一般は25～64歳、高齢者は65歳以上を示す。

(2) 時間帯別発生状況

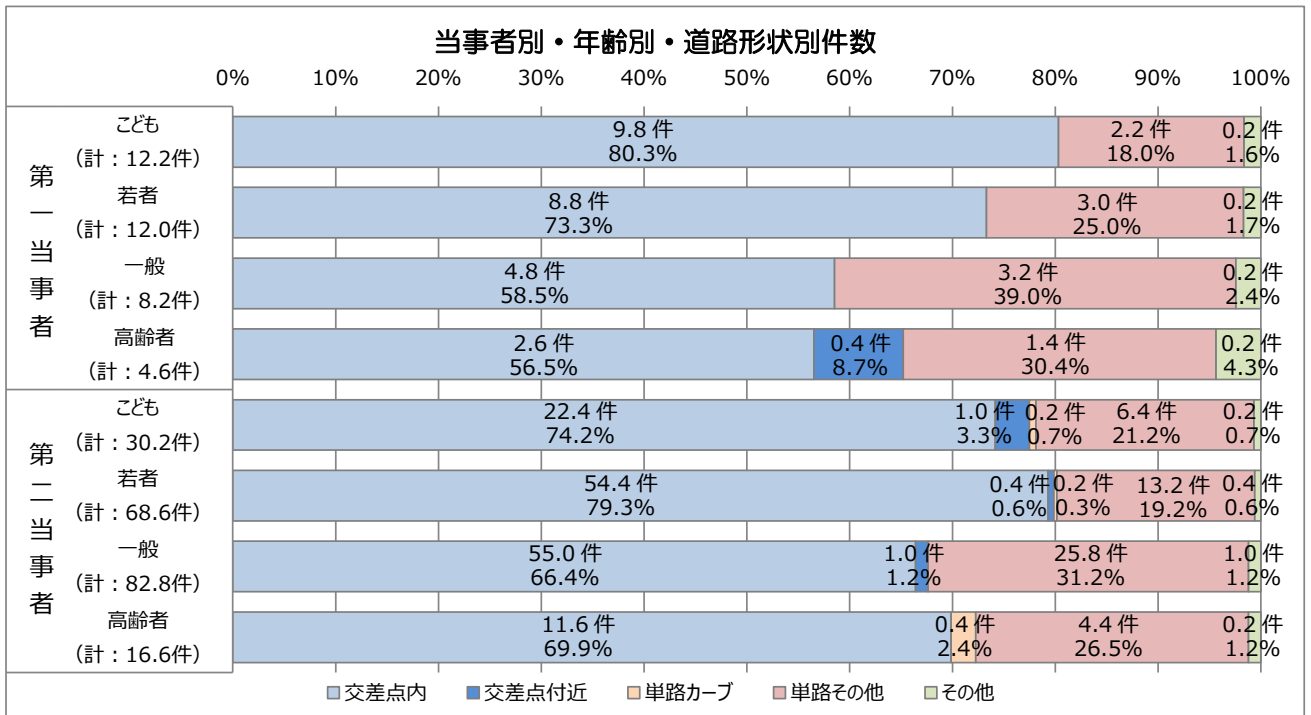
平成29年～令和3年の平均件数



自転車事故は若者・一般では第一当事者・第二当事者ともに朝の割合が高く、高齢者は第一当事者・第二当事者ともに昼前、昼過ぎの割合が高い。

(3) 道路形状別発生状況

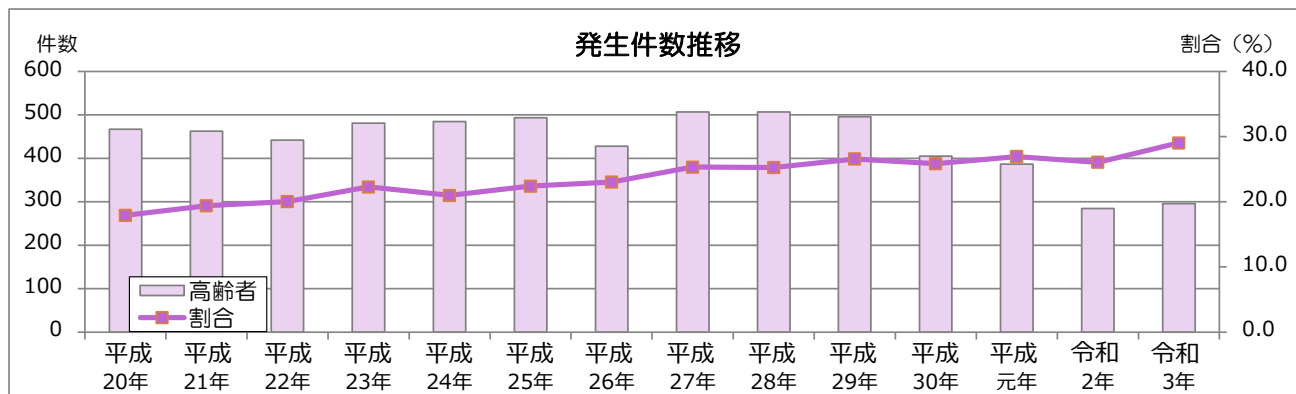
平成29年～令和3年の平均件数



第一当事者・第二当事者ともに交差点内の割合が高い。

7 豊田市の高齢者（65歳以上）の交通事故

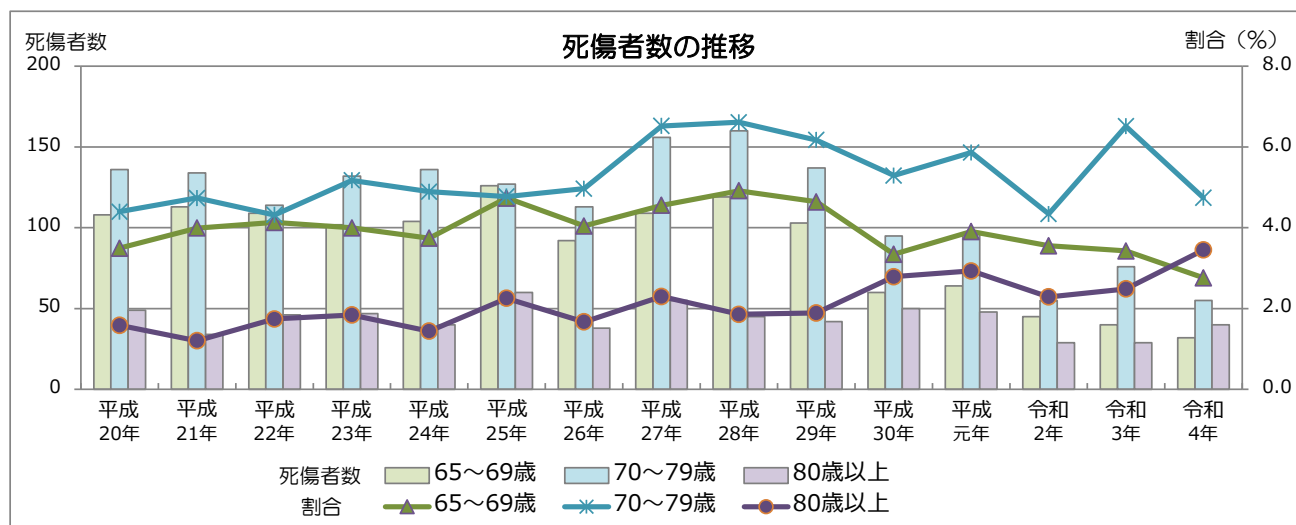
(1) 発生状況の推移



区分	年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
発生件数	発生件数	2,603	2,385	2,205	2,156	2,311	2,202	1,857	2,000	2,006	1,866	1,565	1,435	1,093	1,019
	高齢者	467	463	442	481	485	494	428	507	507	496	405	387	285	296
	割合	17.9	19.4	20.0	22.3	21.0	22.4	23.0	25.4	25.3	26.6	25.9	27.0	26.1	29.0

※割合とは各年の全発生件数に占める高齢者事故の割合。

平成 20 年から令和 3 年までの 14 年間で全体の事故件数は 61%減少したが、高齢者の事故件数は 37%の減少に止まっている。



区分	年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
死傷者数	死傷者数	3,091	2,829	2,638	2,551	2,779	2,659	2,275	2,392	2,420	2,219	1,794	1,637	1,266	1,167	1,159
	65~69歳	108	113	109	102	104	126	92	109	119	103	60	64	45	40	32
	70~79歳	136	134	114	132	136	127	113	156	160	137	95	96	55	76	55
	80歳以上	49	34	46	47	40	60	38	55	45	42	50	48	29	29	40
割合	65~69歳	3.5	4.0	4.1	4.0	3.7	4.7	4.0	4.6	4.9	4.6	3.3	3.9	3.6	3.4	2.8
	70~79歳	4.4	4.7	4.3	5.2	4.9	4.8	5.0	6.5	6.6	6.2	5.3	5.9	4.3	6.5	4.7
	80歳以上	1.6	1.2	1.7	1.8	1.4	2.3	1.7	2.3	1.9	1.9	2.8	2.9	2.3	2.5	3.5

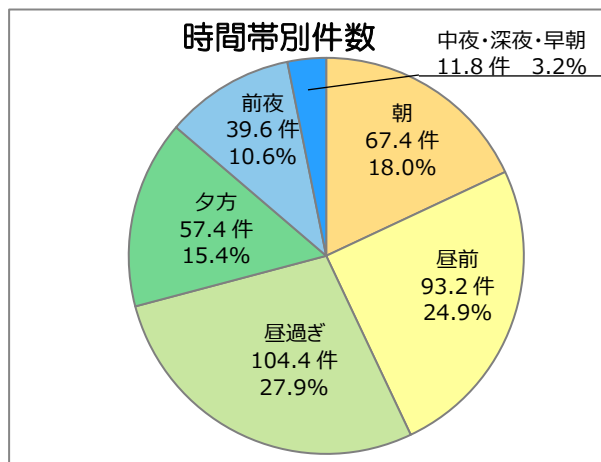
※割合とは各年の全死傷者数に占める高齢者の割合。

※平成 19~23 年は平成 24 年に行われた事故件数見直し前の値であるが、誤差は僅かであり全体の傾向に影響はない。

平成 20 年から令和 4 年までの 15 年間で全体の交通事故死傷者数は 63%減少し、高齢者の交通事故死傷者数も 57%減少した。

(2) 時間帯別発生状況

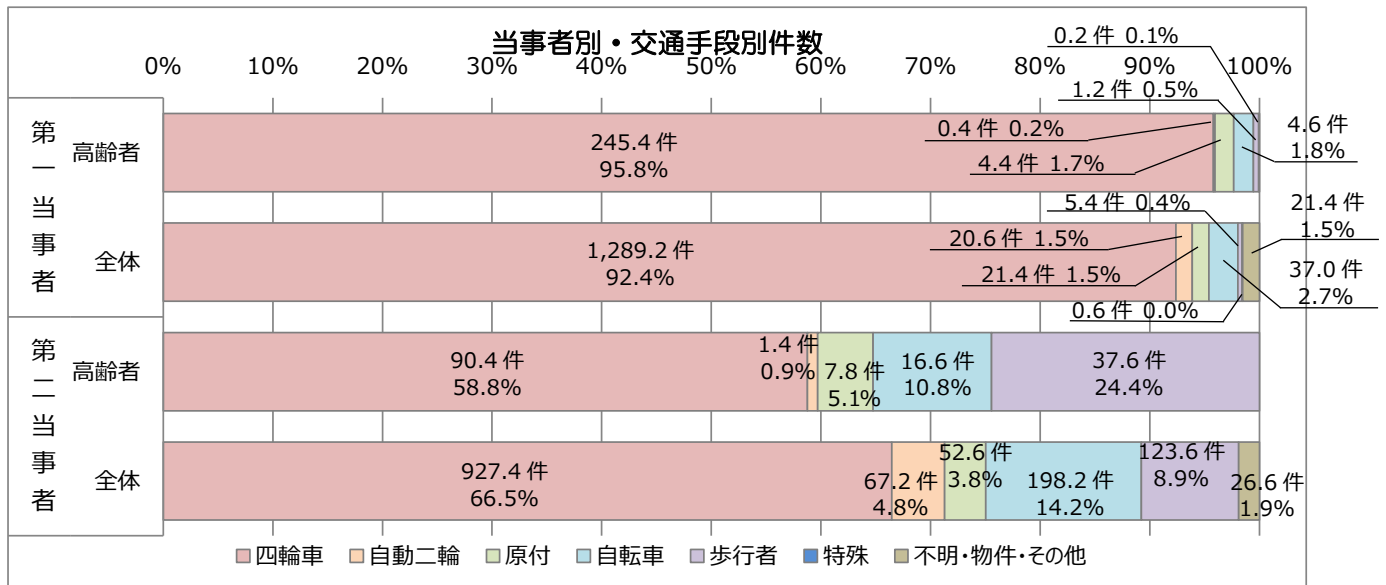
平成29年～令和3年の平均件数



高齢者の事故は昼前、昼過ぎに多い。

(3) 交通手段別発生状況

平成29年～令和3年の平均件数

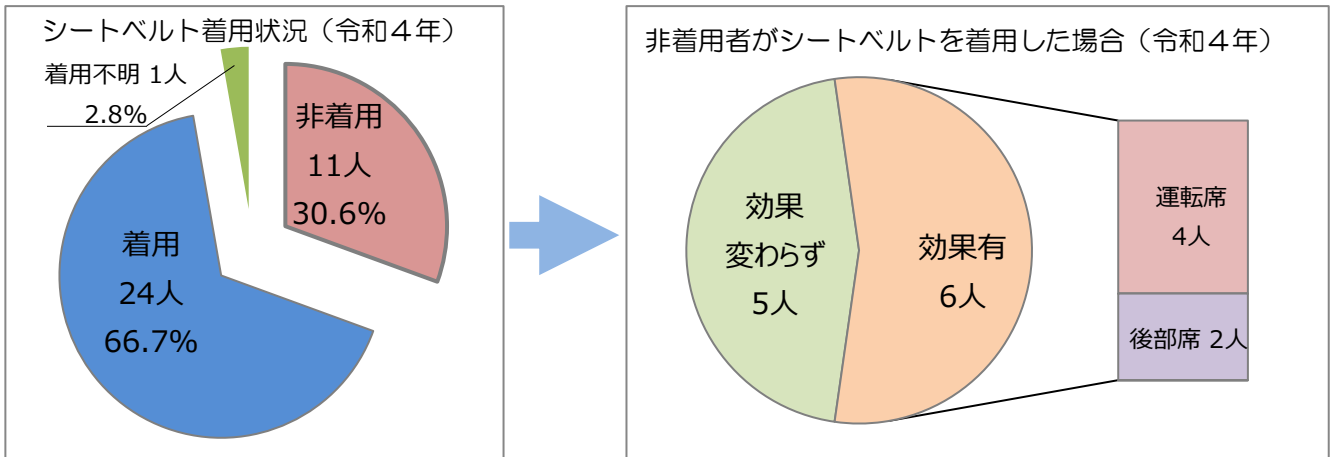


高齢者の事故は第一当事者、第二当事者ともに四輪車が最も多い。全体と比べると高齢者は第二当事者で歩行者の割合が高い。

- 高齢者の方へ
- 青信号、横断歩道でも渡り終わるまで左右の安全確認、車が来ないことを確認してから渡りましょう。
 - 交通量が少ない道路であっても、横断歩道があればそこまで移動して、周りの状況をよく確認してから渡りましょう。

※高齢者とは65歳以上で、全体とは全ての年齢を含む。

シートベルト着用状況（愛知県警察データより）



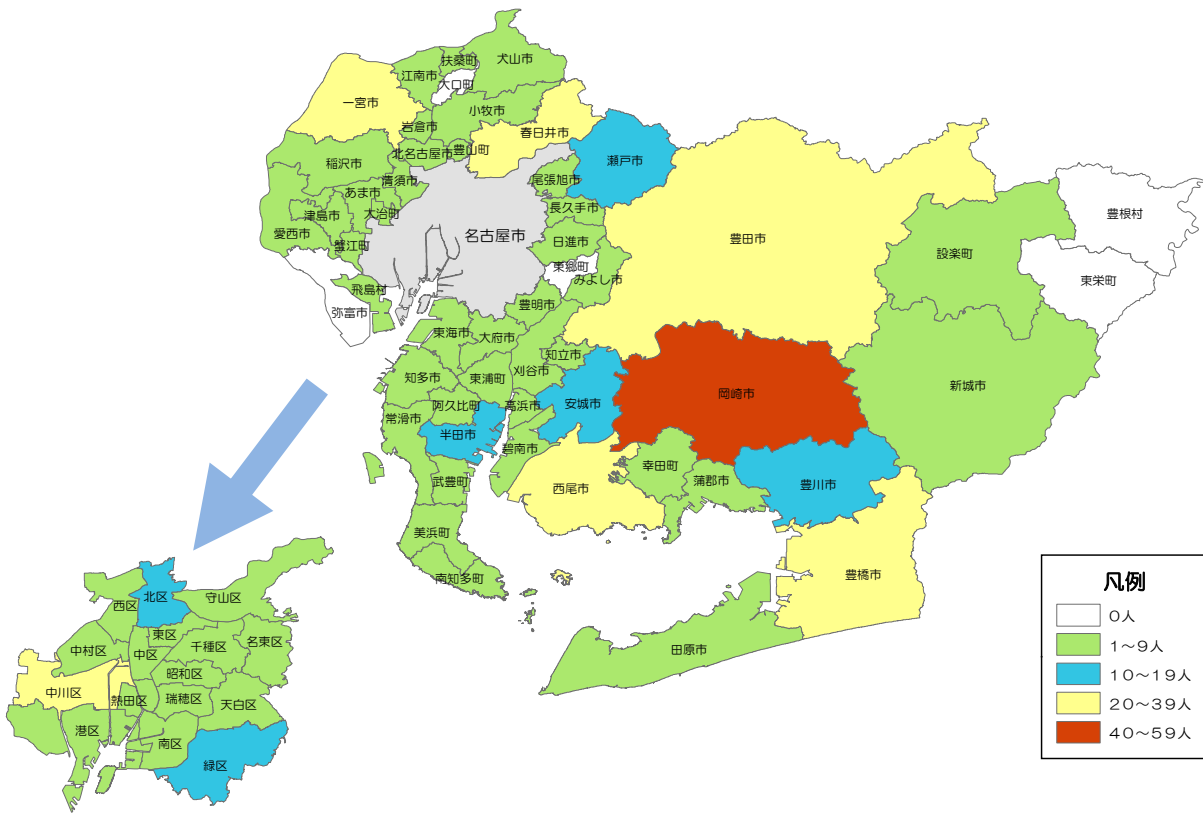
※四輪車乗車中の死者 36 人中 11 人が非着用。

※効果有は着用していれば助かったと思われる人。

- 平成 20 年 6 月に道路交通法が改正され、後部座席もシートベルトの着用が義務化されました。
- シートベルトを着用のうえ、エアバック（装備車）が作動すれば、万が一、交通事故に遭った場合でも衝突時の衝撃が大幅に軽減されます。

令和4年の自治体別飲酒運転による検挙者の実態

※飲酒運転で検挙された者及び飲酒運転による人身事故の原付以上の第一当事者の居住地を示す。



豊田市では令和4年中29人が検挙され、愛知県内ワースト3位である。（名古屋市を除く）

※愛知県警察の「飲酒運転の事故実態」に基づく。

歩行者を守ろう！

道路横断中の交通事故を防止するため、「歩行者保護モデルカー活動」、「とまってくれてありがとう運動」を推進しています。

歩行者保護モデルカー活動

「歩行者保護モデルカー活動」とは、活動を委嘱された事業所の車両にステッカーを貼り、以下の3項目を実践した運転を行い、安全運転のけん引役を担うことで交通事故抑止を目指しています。また、市民向けのステッカーを広く配布し、市内全域で活動の拡大を図っています。

速度遵守・・・制限速度を必ず守る

ハイビームの活用・・・ライト点灯時はハイビームを活用する

歩行者優先・・・横断歩道で歩行者や自転車を見たら必ず止まる



委嘱事業所用ステッカーデザイン



市民向けステッカーデザイン



横断歩道は歩行者優先です

とまってくれて **ありがとう**



歩行者から
伝えよう♪

横断歩道を渡るときに、歩行者側から一時停止してくれたドライバーに、積極的に会釈などで感謝を伝える運動です。

安全な横断歩道の渡り方



「止まる！」



「見る・待つ！」

プラス
+



ドライバーと目を合わせて

「ありがとう！」

笑顔で「ありがとう」と感謝を伝えることで、ドライバーは清々しい気持ちになり、歩行者に優しい安全運転の輪を広げていきます。また、ドライバーとアイコンタクトをすることで、安全確認の徹底にもつながります。

自転車安全利用五則

(令和4年11月1日中央交通安全対策会議交通対策本部決定)

自転車は道路交通法上の「軽車両」で車の仲間です。車と同じように、運転する人が守らなければならない交通ルールがあります。

1 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先

自転車は、歩道と車道の区別がある道路では車道通行が原則です。

車道を通行する場合は、左側に寄って通行しなければなりません。

罰則 3ヵ月以下の懲役または5万円以下の罰金



普通自転車は、歩道を通行できる場合、車道寄りの部分をすぐに停止できる速度で通行します。

歩行者の通行を妨げるときは一時停止しなければなりません。

罰則 2万円以下の罰金または料



普通自転車が例外的に歩道を通行できる場合



● 「普通自転車歩道通行可」の標識・標示がある

● こども（13歳未満）、高齢者（70歳以上）、体の不自由な人が運転している

● 通行の安全確保のためにやむを得ない

- ◆ 道路工事している
- ◆ 駐車車両が続いている
- ◆ 交通量が多く道幅が狭い など

2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認

信号機のある交差点では、信号に従って安全を確認し通行しましょう。

自転車は、対面する車両用信号に従うのが原則です。「歩行者・自転車専用」と表示されている信号機がある場合や横断歩道を通行する場合は、歩行者用信号機に従わなければなりません。



道路標識等により、一時停止すべきとされている場所では、必ず一時停止し、安全を確認しましょう。



罰則 3ヵ月以下の懲役または5万円以下の罰金等

3 夜間はライトを点灯

前方の安全確認だけでなく、歩行者や車に自転車の存在を知らせるためにも、夜間は必ずライトを点灯しましょう。



罰則 5万円以下の罰金

4 飲酒運転は禁止

自転車は車の仲間なので、飲酒運転は禁止です。お酒を飲んだら絶対に運転してはいけません。



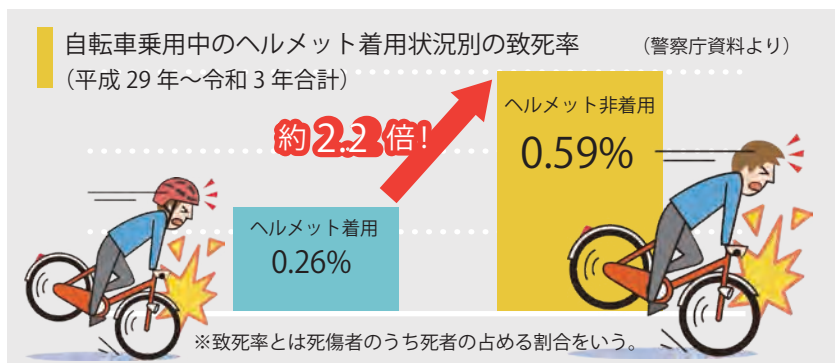
罰則 5年以下の懲役または100万円以下の罰金

5 ヘルメットを着用

自転車を利用するすべての人は、自転車事故による被害を軽減するために、乗車用ヘルメットを着用しましょう。幼児・児童を保護する責任のある人は、幼児・児童を自転車に乗せるときには、乗車用ヘルメットを着用させるようにしましょう。



ヘルメット非着用で自転車事故により亡くなった人の約6割は頭部を損傷しています(平成29年～令和3年合計)。また、ヘルメット非着用時の致死率は、着用時と比べて約2.2倍も高くなっています。自転車事故による被害を軽減するためには、頭部を守ることが大変重要です。



危険な「ながら運転」はやめましょう!

自転車運転中の「ながら運転」は、周囲が見えにくい、音が聞こえにくい、注意がおろそかになるなどの危険があります。交通事故の原因となるので、絶対にやめましょう(下記のような行為自体を禁止している都道府県もあります。)

罰則 5万円以下の罰金



傘さし運転



スマホ等使用運転



イヤホン等使用運転

交通安全啓発動画紹介

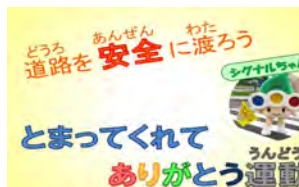


二次元コードを読み込むと YouTube へリンクします。ぜひご覧ください。

【とまってくれてありがとう運動】

◆「道路を安全に渡ろう とまってくれてありがとう運動(シグナルちゃん編)」

小学校の下校指導等で使用していることも向けの内容です。運動の手順を、シグナルちゃんが実践して説明しています。



URL:

<https://m.youtube.com/watch?v=Ux68c3maMT8>

動画の長さ: 2分49秒

作成: 豊田市交通安全防犯課

◆「道路を安全に渡ろう とまってくれてありがとう運動(ラリー編)」

カッコいいラリーカーが登場します。稲武の皆さんの協力のもと撮影しました。



URL:

<https://m.youtube.com/watch?v=TMnG83es8so>

動画の長さ: 1分

作成: NPO 法人稲武まちづくり協議会、足助警察署、豊田市、稲武地区の皆さま

【自転車の交通安全】

◆「ドライバーのみなさん知ってる? 自転車の正しい通行ルール」

自転車とクルマが車道を安全に通行できるよう、「自転車は車道通行が原則」とする通行ルールを「トヨタヴェルブリッツ」の選手がわかりやすく説明しています。



URL:

<https://m.youtube.com/watch?v=4Yj3bMoLV9o>

動画の長さ: 5分10秒

作成: 豊田市建設企画課

※動画は予告なく削除される可能性がありますので、ご了承ください。

【歩行者保護】

◆「実践しよう！ハンドアップ運動～シーベルちゃんとコノハけいぶファミリー編～」

愛知県交通安全キャラクターのシーベルちゃんと愛知県警マスコットのコノハけいぶファミリーが、横断歩道の安全な渡り方「ハンドアップ運動」を実践します。



URL :

<https://m.youtube.com/watch?v=8ErDjaso3Qk>

動画の長さ：15秒

作成：愛知県県民安全課、愛知県警察

◆「横断歩行者保護～ダイヤモンドをご存知ですか？～」

横断歩道での安全運転について、ダイヤモンドからわかりやすく説明しています。



URL :

<https://m.youtube.com/watch?v=iCoqn2-UXZk>

動画の長さ：4分51秒

作成：愛知県警察

【高齢者の交通安全】

◆「交通安全啓発動画（高齢歩行者向け）」

高齢歩行者へ交通安全意識アップを呼び掛ける動画です。



URL :

<https://m.youtube.com/watch?v=3Hsv1XuHAWA>

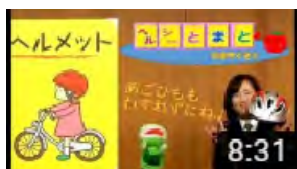
動画の長さ：30秒

作成：愛知県県民安全課

【こどもの交通安全】

◆「交通安全 歌とダンスで覚えよう！ヘルシーとまとの約束」

子どもたちが楽しく交通ルールを覚えることができます。



URL :

<https://m.youtube.com/watch?v=Uyri-SuZc0U>

動画の長さ：8分30秒

作成：愛知県警察

～その他啓発動画が見られる関連サイト～

愛知県警察公式チャンネル <https://m.youtube.com/channel/UCYebPi-FDXsWBgYa1Ag/videos>

内閣府 政府インターネットテレビ https://nettv.gov-online.go.jp/mobile/category_index.php?t=129

交通安全作文 (令和4年度 最優秀作品 豊田市長賞)

『家族が交通事故に』

6月に祖父が交通事故にあいました。祖父が、運転中に、前の車が急に止まったので、祖父も止まったところ、後ろの車に追突されました。その日は、たまたま母は、仕事が休みで家にいました。そこに、祖母が慌ててきたそうです。

「おじいちゃんが追突された。」

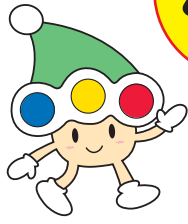
と、いつもは冷静な祖母が焦っていました。母も動揺しながらも

「おじいちゃんから連絡あったの？」

と聞いたそうです。祖母の話では、追突されて、今警察を呼んでいる。と連絡があったとのことでした。祖母が、祖父のところに行きたいと言うので、母が運転して、事故現場に向かうことになりました。運転中に、

「その道だったら、昼間渋滞しててそんなスピードは出せないはずだから、大きい事故でもなさそうじゃない。」

と言いながらも、母は焦りから、いつもよりスピードが出ていたそうです。現場に着くと警察官、祖父、追突した運転手が、事故の現場検証をしていました。祖父の無事な姿をみて、祖母も母もほっとしたそうです。事故の原因は、後方の車の前方不注意でした。警察官の方から、追突されて痛いところもあるようなので、病院に行った方がいいということで母が救急車を呼んだそうです。事故現場の住所を聞かれた時に、電柱を見ても住所が書いて無くて、目印を聞かれた時に、その建物が東側に見えますか？と聞かれた時に、どっちがどの方向か訳がわからなくなり焦ったそうです。救急車がみえたら、大きく手を振ってください。と言われ、必死に手を振ったそうです。その後、母は、病院に付き添いました。車が凹んでいるだけだし、と思いながらも、祖父が画像の検査に行ってる時は、心配しすぎてお腹が痛くなったそうです。祖父は、検査で異常はなく検査終了後、すぐに家に帰ることができました。その日の夜、母に事故の話聞き、弟達も動揺しました。祖父が無事ではあったけど、家族が事故にあうと、こんなにも心配な気持ちになるんだということに、改めて気付かされました。私は、習い事に行く時に、父や母に送ってもらいます。何時までにかかないといけない、友達と話す約束をしているとか、急かすような発言をしたり、今の信号で行けばよかったのにと言ったこともあります。祖父の事故のこともあり、私の発言は、すごく運転手にプレッシャーを与えているなと反省しました。そんなことを言うよりも、自分が早く準備して、早く家を出られるようにしようという気持ちになりました。自分が安全を意識するようになると、危険な運転をしてる人がすごく気になるようになりました。えっ？ここに入るのは無理だよとか、危ないなあと思うことが増えました。きっと運転手さんにも、慌てないといけない理由があったり、ただ単に行ける行けると思って運転しているかはわかりませんが、事故を身近なものに感じた私にとっては、運転は、自分の都合でするものではなくて、交通ルールを守ってするものであると思います。母が祖父の事故現場に行く時、焦ってスピードがいつもより出ていたと言っていますが、明らかに冷静さが無い中での運転だと思います。たまたまのタイミングで起きるものだと思うので何もなかったら、ラッキーとは思わずに、運転は、気持ちが落ちついて、冷静に判断できる時にするものだと思います。今の車は、衝突被害軽減ブレーキ等、車自体の性能は、すごく進化しています。だからこそ、それに併せて運転する人も今以上に運転に集中していれば、事故のない世の中になるのでは、と思います。安全に事故なく人々が移動できるのは、理想です。みんなが守ることで、理想が現実になります。そういう世界になることを願っています。



交通安全標語



令和4年度 最優秀作品
豊田市交通安全市民会議会長賞

手をあげて 目と目を合わせ ありがとう

(令和4年度 優秀作品)

【とまってくれてありがとう運動の推進】

手をあげて くるまにわたしを しらせよう！

【子ども・高齢者の交通事故防止】

暗い道 着けて安心 反しゃ材

【自転車の安全利用促進】

止まるんだ 「止まれ」があれば 自転車も

【ドライバーの安全運転促進】

みているよ 親のマナーは 子どもの手本

【交通安全全般】

信号機 点滅しだした 次を待とう

令和4年度 交通安全ポスター—最優秀作品



豊田市長賞



豊田市議会議長賞



豊田警察署長賞



足助警察署長賞



豊田市教育委員会賞



豊田市交通安全市民会議会長賞

発行：豊田市交通安全市民会議

〒471-8501 豊田市西町3-60 南庁舎4F（豊田市交通安全防犯課内）

TEL：0565-34-6633（直通） FAX：0565-32-3794

ホームページ <https://signal.toyota.aichi.jp/> E-mail signal@city.toyota.aichi.jp

編集協力：（公財）豊田都市交通研究所

〒471-0024 豊田市元城町3-17 TEL：0565-31-7543 FAX：0565-31-9888

ホームページ <https://www.ttri.or.jp/> E-mail ttri_mail@ttri.or.jp